

平成17(2005)年度

福岡市埋蔵文化財センター一年報

第25号



2006

福岡市教育委員会

序

アジアの玄関口である福岡市は、古来から対外交渉の門戸として栄えてきました。このことを物語るように、市内には数多くの遺跡が残されています。

埋蔵文化財センターでは、これら発掘調査で出土した遺物や記録類を体系的に収蔵管理し、多くの市民に活用して頂くために、昭和57年2月に開館しました。以来二度にわたって増改築を行い、収蔵庫・展示室・研修室・保存処理室などの充実に努めてまいりました。又、第三展示室に速報コーナー、エントランスにDNA運動の一環として市民のみなさまに解りやすく説明した遺物を展示し、市民の方により早く正確な情報を提供しております。

また、今年度から小・中学校を中心に、ふるさとを誇りに思う心を育てる一環として、その校区の遺跡・出土遺物を説明し、古代の人々の生活を体験する出前授業を開始し、31校の生徒達が、歴史体験をしました。

今後、積極的に外へ出かけ、多くの市民の皆様が、歴史体験を実感できるように努力していきたいと思えます。

今後なお一層、当センターをご利用されるようお願い申し上げますとともに、関係各位のご指導・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成18年9月1日

福岡市教育委員会 教育長 植木 とみ子

目次

I 平成17(2005)年度の活動	1
1. 資料の収蔵・整理	1
2. 保存処理	6
3. 教育普及活動	22
4. 入館者数	32
5. 平成17年度当初予算	32
II 埋蔵文化財センターの概要	33
1. 組織と職員	33
2. 施設	33
付1 福岡市埋蔵文化財センター条例等	35
付2 平成17年度刊行福岡市埋蔵文化財調査報告書一覧	裏表紙見返し

例言

1. 本書は平成17年度(2005年4月1日～2006年3月31日)の福岡市埋蔵文化財センターの業務年報である。
2. 本書の作成は、二宮忠司、内田寿夫、瀧本正志、田上勇一郎、片多雅樹、比佐陽一郎、柳田純孝、常松幹雄が担当した。

※表紙写真は、城田遺跡2次調査出土の獣帯鏡(中国三国時代)

I 平成17(2005)年度の活動

1. 資料の収蔵・整理

(1) 収蔵方針

昭和44(1969)年、教育委員会に文化課が発足して以来、市内における緊急調査や史跡整理に伴う確認調査などで得られた出土品および写真・図面等の記録類は膨大な数量に及んでいる。これら考古資料の保存と活用をはかり、市民文化の向上に資するために、昭和57(1982)年、福岡市埋蔵文化財センター(以下、センターと呼ぶ)が設立された。

現在、福岡市の文化財行政は教育委員会文化財部(組織はⅡ-1章参照)で行っている。センターは報告書が刊行された考古資料を発掘事業担当課から受入れて収蔵し、管理することを事業の柱の一つとしている。(発掘事業は行っていない)。

発掘調査で得られた考古資料は、速やかに一般公開され、広く市民や研究者に活用される事が望ましい。このため文化財部では発掘調査、整理、収蔵の一連の作業が統一性をもって円滑に遂行され、考古資料の多用で迅速な活用をはかるため、昭和60(1985)年に「埋蔵文化財資料の収蔵整理要項」(『福岡市埋蔵文化財センター年報』第5号1985所収)を策定した。この要項はその後実状にあわせ細部を改変したものの、策定後から要項に沿った発掘調査、整理作業が実施され、センターへの考古資料の収蔵も円滑なものとなっており、また収蔵された考古資料の活用も年々増加している(Ⅰ-3章参照)。

(2) 平成17年度の本収蔵

センターに本収蔵されている考古資料は、発掘事業担当課が報告書刊行後要項に沿った整理作業を行い搬入・収蔵したもの(埋文課と表記)と、要項策定以前に発掘調査が行われ仮収蔵されていた資料をセンターで要項に沿って整理したうえ収蔵したもの(センターと表記)とに区

分される。

平成17年度までにセンターに本収蔵されたのは1,239遺跡(追加収蔵まで含めた収蔵数は1,278件)で、その内訳は登録遺物774,770点、甕棺1,328個、コンテナ82,029箱、ネガフィルム293,576点、スライドフィルム358,984点、図面類130,350枚、写真カード160,014枚となっている(表1)。平成17年度までの市内での発掘調査は1,982件であり、そのうち1,145調査、全体の約63%が本収蔵され、検索が可能となった。

平成17年度の本収蔵は、埋文課から搬入・収蔵されたもの92遺跡、センターで収蔵したものの24遺跡のあわせて96遺跡(新規収蔵94遺跡、追加収蔵2遺跡)である。主な収蔵品は遺物がコンテナ4,559箱と甕棺21個(コンテナ換算する場合は甕棺1個を12箱とする)、写真類が34,798点、図面類が7,499点、写真カードが7,951枚である(表2)。

出土品のうち土器・石器は一般収蔵庫に、金属器・木製品・玉類は特別収蔵庫に収納している。また写真類は第一記録類収蔵庫、図面類は第二記録収蔵庫、写真カードは第一資料整理室へ納めた。

(3) ポジカラーフィルムのデジタル化

収蔵されているポジカラーフィルムには年月の推移とともに褪色、劣化が著しいものがある。

6年目となる17年度は、JPEGの可逆圧縮形式とTIFFの非圧縮形式でマスターデータはDVD、閲覧用データはCD-Rで保管し活用可能となった。1975年度から1997年度までの219調査について委託を行った。デジタル化にあたっては35mmを主な対象とし、報告書に用いられたカットとその他の必要なカットを遺跡調査番号ごとに選択した(表3)。

表1 本収蔵数一覧(1986~2005年度)

年度	収蔵区分	新規遺跡数	追加遺跡数	登録遺物点数	遺物		ネガフィルム			ポジフィルム			図面		写真カード
					甕棺数	コンテナ数	35mm(本)	6×7(コマ)	4×5(枚)	35mm(コマ)	6×7(コマ)	4×5(枚)	遺構	遺物	
1986	埋文課	4	0	3,639	0	749	57	1,397	7	1,358	163	0	352	239	781
	センター	14	0	4,475	0	309	343	1,844	169	3,736	386	96	617	512	1,564
	年度合計	18	0	8,114	0	1,058	400	3,241	176	5,094	549	96	969	751	2,345
1987	埋文課	12	0	8,860	3	779	284	4,051	8	2,931	373	0	994	1,223	2,744
	センター	9	0	2,631	1	217	229	2,327	80	3,121	254	2	427	290	1,630
	年度合計	21	0	11,491	4	996	513	6,378	88	6,052	627	2	1,421	1,513	4,374
1988	埋文課	38	1	15,193	61	1,152	560	8,566	10	6,694	647	0	1,784	1,789	5,074
	センター	5	0	11,301	72	740	331	4,342	137	4,848	13	0	888	1,141	2,994
	年度合計	43	1	26,494	133	1,892	891	12,908	147	11,542	660	0	2,672	2,930	8,068
1989	埋文課	11	0	16,380	6	1,121	231	7,507	99	4,634	966	63	1,612	1,619	2,343
	センター	3	0	6,701	0	868	155	3,559	92	2,906	0	0	105	418	2,090
	年度合計	14	0	23,081	6	1,989	386	11,066	191	7,540	966	63	1,717	2,037	4,433
1990	埋文課	60	0	43,807	29	2,214	1,460	17,561	712	19,235	2,405	76	3,173	3,277	9,563
	センター	30	0	11,096	3	766	311	3,073	0	4,714	496	8	723	955	1,924
	年度合計	90	0	54,903	32	2,980	1,771	20,634	712	23,949	2,901	84	3,896	4,232	11,487
1991	埋文課	57	0	32,480	32	3,028	599	10,974	45	9,051	1,095	67	2,435	2,552	6,075
	センター	6	0	4,586	65	724	395	3,303	86	3,541	811	45	666	865	1,856
	年度合計	63	0	37,066	97	3,752	994	14,277	131	12,592	1,906	112	3,101	3,417	7,931
1992	埋文課	74	4	33,934	78	3,449	760	12,820	12	12,490	1,618	25	3,505	3,092	6,972
	センター	13	2	8,046	30	1,287	284	3,006	19	3,141	176	8	558	985	1,950
	年度合計	87	6	41,980	108	4,736	1,044	15,826	31	15,631	1,794	33	4,063	4,077	8,922
1993	埋文課	52	0	28,850	26	4,355	711	21,093	38	12,410	2,949	17	2,858	2,811	11,587
	センター	6	0	6,034	7	1,118	237	22	463	2,123	0	26	308	156	654
	年度合計	58	0	34,884	33	5,473	948	21,115	501	14,533	2,949	43	3,166	2,967	12,241
1994	埋文課	40	1	17,817	118	1,570	472	8,556	0	7,680	1,751	4	1,936	2,068	4,797
	センター	9	0	7,285	3	984	151	1,026	125	2,619	68	11	560	427	985
	年度合計	49	1	25,102	121	2,554	623	9,582	125	10,299	1,819	15	2,496	2,495	5,782
1995	埋文課	57	1	40,565	37	4,229	675	12,851	257	10,564	3,035	238	2,519	3,354	7,581
	センター	13	0	5,854	9	1,128	182	2,973	6	3,099	270	0	448	450	1,526
	年度合計	70	1	46,419	46	5,357	857	15,824	263	13,663	3,305	238	2,967	3,804	9,107
1996	埋文課	66	0	32,101	148	3,454	764	12,136	0	14,364	4,429	10	3,239	3,256	7,629
	センター	12	0	5,015	82	565	245	2,529	618	3,331	284	0	520	1,035	1,725
	年度合計	78	0	37,116	230	4,019	1,009	14,665	618	17,695	4,713	10	3,759	4,291	9,354
1997	埋文課	84	1	58,346	56	7,942	1,063	18,594	23	17,119	7,240	44	4,424	3,848	10,889
	センター	8	0	5,088	0	740	134	2,293	355	2,217	391	0	291	616	1,112
	年度合計	92	1	63,434	56	8,682	1,197	20,887	378	19,336	7,631	44	4,715	4,464	12,001
1999	埋文課	109	2	54,107	79	5,509	1,193	18,783	1,008	22,461	7,209	84	5,207	4,779	11,675
	センター	3	0	1,279	1	366	44	704	0	991	82	0	87	88	455
	年度合計	112	2	55,386	80	5,875	1,237	19,487	1,008	23,452	7,291	84	5,294	4,867	12,130
2000	埋文課	75	5	47,069	71	5,798	1,361	20,717	75	26,016	8,431	84	6,069	5,896	12,968
	センター	11	0	3,851	0	535	51	419	69	790	157	0	897	299	337
	年度合計	86	5	50,920	71	6,333	1,412	21,136	144	26,806	8,588	84	6,966	6,195	13,305
2001	埋文課	44	1	30,512	34	4,785	669	8,157	121	10,229	3,011	7	2,263	2,930	5,061
	センター	9	8	6,502	9	841	356	3,277	65	4,281	11	0	1,065	1,039	2,192
	年度合計	53	9	37,014	43	5,626	1,025	11,434	186	14,510	3,022	7	3,328	3,969	7,253
2002	埋文課	50	6	47,781	112	5,229	689	10,503	0	13,496	4,956	13	2,356	3,195	6,274
	センター	10	0	2,595	2	268	130	489	215	2,107	0	0	203	261	690
	年度合計	60	6	50,376	114	5,497	819	10,992	215	15,603	4,956	13	2,559	3,456	6,964
2003	埋文課	82	3	61,651	66	7,356	755	15,498	665	14,786	6,002	483	3,644	4,436	8,124
	センター	8	0	2,170	16	163	96	2,598	0	1,980	52	0	247	289	1,522
	年度合計	90	3	63,821	82	7,519	851	18,096	665	16,766	6,054	483	3,891	4,725	9,646
2004	埋文課	48	2	41,675	37	2,702	711	8,607	181	13,700	3,106	247	2,709	2,642	5,469
	センター	13	0	2,068	14	178	420	2,383	354	2,733	11	0	439	183	1,251
	年度合計	61	2	43,743	51	2,880	1,131	10,990	535	16,433	3,117	247	3,148	2,825	6,720
2005	埋文課	70	2	59,235	16	4,276	620	10,065	277	13,796	4,589	133	2,924	3,422	7,092
	センター	24	0	4,191	5	535	385	458	11	4,410	48	6	380	481	859
	年度合計	94	2	63,426	21	4,811	1,005	10,523	288	18,206	4,637	139	3,304	3,903	7,951
計	埋文課	1,033	29	674,002	1,009	69,697	13,634	228,436	3,538	233,014	63,975	1,595	54,003	56,428	132,698
	センター	206	10	100,768	319	12,332	4,479	40,625	2,864	56,688	3,510	202	9,429	10,490	27,316
	総計	1,239	39	774,770	1,328	82,029	18,113	269,061	6,402	289,702	67,485	1,797	63,432	66,918	160,014

註) 1998年度はセンターの増築・改造のため本収蔵は行われなかった。
 数の単位は遺物甕棺(個)、コンテナ(箱)、ネガフィルム35mm(本)、その他の写真(コマ、4×5は枚)、図面・写真カード(枚)

表2 平成17(2005)年度本収蔵一覧

収蔵番号	収蔵区分	調査番号	遺跡名	回数	報告書(集)	登録遺物点数	遺物			ネガフィルム			ポジフィルム			図面		写真カード	調査担当者
							甕棺数	コンテナ数	35mm(本)	6×7(コマ)	4×5(枚)	35mm(コマ)	6×7(コマ)	4×5(枚)	遺構	遺物			
200501	埋文課	9750	箱崎遺跡	13	592	146	13		16		26	16		7	1	19	佐藤一郎		
200502	埋文課	9815	比恵甕棺遺跡	1	625	46		6	5		12	5		5		8	佐藤一郎		
200503	埋文課	9777	博多遺跡群	106	593	81	9	5	14		16	14		5	1	13	佐藤一郎		
200504	埋文課	9414	那珂遺跡群	47	454	91	20	6	28		30	28		15	4	26	佐藤一郎		
200505	埋文課	0108	箱崎遺跡	26	853	4,104	437	15	227		312	226		91	48	142	佐藤一郎		
200506	埋文課	0321	比恵遺跡群	85	856	169	25	7	108		90	93		24	31	61	長家伸		
200507	埋文課	0338	野多目遺跡/池古墳	1	年報18	2	1	7	114		109	112		21	1	67	長家伸		
200508	埋文課	0348	那珂遺跡群	93	842	140	16	3	80		60	70		19	33	41	長家伸		
200509	埋文課	0361	那珂遺跡群	94	843	200	14	5	80		66	82		15	23	43	長家伸		
200510	埋文課	0418	那珂遺跡群	96	844	103	3	3	30		43	30		7	6	15	長家伸		
200511	センター	7918	有田遺跡群	23	58	155	6	33			306			29	16	51	埋蔵文化財センター		
200512	センター	7919	有田遺跡群	24	58	106	5	30			206			17	11	53	埋蔵文化財センター		
200513	センター	8949	表野C遺跡群	1	361	226	16	12	184		263			54	6	115	埋蔵文化財センター		
200514	埋文課	9862	諸岡B遺跡	20	776	93	3	5			75			10	7	9	大庭康時		
200515	埋文課	9907	比恵遺跡群	67	770	171	7	3	70		83	72		12	13	39	大庭康時		
200516	埋文課	9815	箱崎遺跡	15	810	306	18	3	67		34	36		8	30	33	大庭康時		
200517	埋文課	0218	福岡城跡	49	783・838	2,012	624	35	717		867	429		124	67	438	大庭康時		
200518	埋文課	0018	下月隈C遺跡	6	839	4,371	359	74	1,918		1,415	759	8	269	881	1,160	山崎直雄		
200519	埋文課	0329	金武城田遺跡	2	866	1,179	45							149	38		阿部泰之		
200520	埋文課	0144	浦江遺跡	5	866	314	14							11	13		池田祐司		
200521	埋文課	0315	次郎丸高石遺跡	6	840	309	11	7	34		201		33	49	12	31	池田祐司		
200522	埋文課	0329	金武城田遺跡※	2	866	665	27							114	36		池田祐司		
200523	埋文課	0144	浦江遺跡※	5	866	727	36							136	21		阿部泰之		
200524	埋文課	9824	表野A遺跡群	6	867	65	2	4	67		68	69		17	5	42	田上勇一郎		
200525	埋文課	0208	寺島遺跡	2	867	134	6	2	20		33			8	7	15	井上嗣子		
200526	埋文課	0006	博多遺跡群	124	758	6,183	579	29	469	9	545	558	38	219	335	1,022	田上勇一郎		
200527	埋文課	9730	立花寺遺跡	4	702	60	2	2	20		18	18		8	6	13	井上嗣子		
200528	埋文課	0216	席田大谷遺跡群	6	828	653	68	3	56	24	67	70		21	30	58	井上嗣子		
200529	埋文課	0238	博多遺跡群	140	808	1,059	39	5	127	19	140	84		26	20	93	井上嗣子		
200530	埋文課	0258	那珂遺跡群	87	793	10	1	1	16		16	18		3	1	10	井上嗣子		
200531	埋文課	0230	那珂遺跡群	85	801	89	1	18	3	88	7	84	86	11	28	57	井上嗣子		
200532	埋文課	0022	箱崎遺跡	22	852	680	50	6	182		75	26		30	44	75	榎本義嗣		
200533	埋文課	9649	飯氏遺跡群	8	786	509	36	7	64		136			34	34	44	大塚紀宣		
200534	埋文課	0332	博多遺跡群	142	848	1,034	1	146	9	159	204			41	64	95	大塚紀宣		
200535	埋文課	0364	比恵遺跡群	90	858	324	17	6	86		133			19	19	49	大塚紀宣		
200536	埋文課	0333	博多遺跡群	143	849	1,863	1	70	5	244	144	60		20	11	44	荒牧宏行		
200537	埋文課	0367	表野A遺跡群	14	859	153	14	3	69		70			10	21	39	荒牧宏行		
200538	埋文課	0312	比恵遺跡群	83	855	385	19	3	85		104			30	77	121	荒牧宏行		
200539	埋文課	0353	比恵遺跡群	87	857	339	5	55	8	199	136			13	88	99	荒牧宏行		
200540	埋文課	0351	比恵遺跡群	88	年報18	40	4		10		12			4	7	5	荒牧宏行		
200541	センター	7916	有田遺跡群	21	58	5	1	2			26			10	1	3	埋蔵文化財センター		
200542	センター	7920	有田遺跡	25	58	7	1	1			10			3	1	1	埋蔵文化財センター		
200543	センター	7921	有田遺跡群	26	58	28	1	1	7		64			10	2	9	埋蔵文化財センター		
200544	センター	7922	有田遺跡群	27	58	29	1	9			67			9	3	1	埋蔵文化財センター		
200545	埋文課	0030	博多遺跡群	126	847	1,032	120	1	211		306	18		31	41	142	杉山富雄		
200546	埋文課	0120	博多遺跡群	132	805	767	49	5	77		99	6		13	27	48	杉山富雄		
200547	埋文課	0144	浦江遺跡群	5	866	388	30	8	80		158			31	28	55	杉山富雄		
200548	埋文課	0209	次郎丸高石遺跡	5	797	79	6	7	84		218	20		48	10	56	杉山富雄		
200549	埋文課	0227	下山門乙女田遺跡	3	796	940	29	12	157		244	13		43	31	111	杉山富雄		
200550	埋文課	0113	箱崎遺跡群	27	812	1,531	54	8	40		119	29		58		35	中村啓太郎		
200551	埋文課	0302	箱崎遺跡群	39	854	713	21	3	18		55			19	38	15	中村啓太郎		
200552	埋文課	0328	蒲田部木原遺跡群	7	836	131	2	24	8	44	149			26	19	37	中村啓太郎		
200553	埋文課	0343	箱崎遺跡群	41	854	715	22	5	61		68	57		49	21	40	中村啓太郎		
200554	埋文課	0368	箱崎遺跡群	44	854	531	8	3	33		40	32		11	6	22	中村啓太郎		
200555	埋文課	8826	今宿遺跡	3	738	583	57	7	170		100	2		3	79	98	小林 義彦		
200556	埋文課	0034	元岡・桑原遺跡群	24	860	1,011	28	98	447	142	1,087	413	39	121	73	380	松村・濱石		
200557	埋文課	0365	元岡・桑原遺跡群	37	861	217	1	15	86	22	329	70	23	14	14	98	濱石哲也		
200558	埋文課	8714	吉武遺跡群	11	303	399	49	9	244	12	135	12		78	26	157	佐藤一郎		
200559	埋文課	9513	那珂遺跡群	52	525	58	8	4	24		24	23		6	3	17	佐藤一郎		
200560	埋文課	9512	那珂遺跡群	51	525	1		2	16		18	16		3	1	11	佐藤一郎		
200561	埋文課	9008	那珂遺跡群	28	292	18	1	1	20		13			5	1	12	佐藤一郎		
200562	埋文課	9737	野多目A遺跡群	6	603	136	1	2	18		35	16		23	2	13	佐藤一郎		
200563	埋文課	9368	高畑遺跡	14	458	50	11	3	6		18	6		9	4	8	佐藤一郎		
200564	埋文課	9802	箱崎遺跡群	14	625	181	12	5	16		16	16		2	2	16	佐藤一郎		
200565	センター	7923	有田遺跡群	28	81	97	7	26			194			16	19	39	埋蔵文化財センター		
200566	センター	7924	有田遺跡群	29	81	14	2	9			151			22	4	14	埋蔵文化財センター		
200567	センター	7926	有田遺跡群	31	81	23	3	11			135			19	9	17	埋蔵文化財センター		
200568	センター	8005	有田遺跡群	33	81	37	5	11			97			17	6	16	埋蔵文化財センター		
200569	センター	8006	有田遺跡群	34	81	18	1	4			34			27	1	6	埋蔵文化財センター		
200570	センター	7712	有田遺跡群	6	377	23	18				135						埋蔵文化財センター		
200571	センター	7925	有田遺跡群	30	110	194	16	25	13		305			72	16	50	埋蔵文化財センター		
200572	センター	8106	有田遺跡群	44	110	60	2	13			44			8	16	21	埋蔵文化財センター		
200573	センター	7914	有田遺跡群	19	96	345	44	52			824			12	122	92	埋蔵文化財センター		
200574	埋文課	8535	吉武遺跡群	9	864	13,564	206		481					16	217	246	加藤良彦		
200575	埋文課	0307	長垂大谷遺跡	1	845	489	7	3	143	12	114	52	12	24	14	92	加藤良彦		
200576	埋文課	0350	久保遺跡	3	837	972	202	6	191		142	36		35	138	106	吉武学		
200577	埋文課	9138	浦江遺跡	2	863	3	3							4	2		吉武学		
200578	埋文課	0234	雄師岡遺跡	13	867	77	3	5	29		95	30		15	6	20	吉武学		
200579	埋文課	0232	老司古墳	5	17	10	1	3			59			1	2	5	吉武学		
200580	埋文課	0126	井尻B遺跡	21	788	235	1	22	15	128	16	314	59	46	24	106	久住純雄		
200581	埋文課	9923	元岡遺跡群	15	860	702	47	5	64	2	145	97	3	20	39	49	吉留秀敏		
200582	埋文課	0263	浦江遺跡	7	862	256	1	9						18	26		藏富士寛		
200583	埋文課	0144	浦江遺跡	5	792	1,017	3	49						53	113		藏富士寛		
200584	埋文課	0144	浦江遺跡	5	866	194	8							58	5		藏富士寛		
200585	埋文課	0027	井尻遺跡	17	787	2,479	151	24	364		2,502	290		143	158	228	塚山洋		
200586	埋文課	8520	表野B遺跡	1	164	97	8	7	33		53			4	9	30	松村道博		
200587	センター	8008	有田遺跡群	36	96	140	4	4	15		118			20	11	21	埋蔵文化財センター		
200588	センター	8009	有田遺跡群	37	96	6	1	1						13	1	1	埋蔵文化財センター		
200589	センター	8220	高畑遺跡	8	98	476	188	20	142		308	48	6	15	101	109	埋蔵文化財センター		
20																			

表3 福岡市埋蔵文化財センター 平成17年度写真デジタル化業務

遺跡名	総枚数	Image Pac	JPG	内訳		ページ	遺跡名	総枚数	Image Pac	JPG	内訳		ページ
				35mm	プローニ						35mm	プローニ	
(7504) 有田遺跡群第3次調査	67			67	0	001	(9252) 姪浜遺跡群第3次調査	45			31	14	028
(7714) 板付遺跡群第21次調査	11			11	0		(9253) 今宿五郎江遺跡第4次調査	8			7	1	
(7837) 板付遺跡群第25次調査	18			18	0		(9354) 徳永A遺跡第3次調査	7	⑤		6	1	029
(7838) 板付遺跡群第26次調査	8			8	0		(9256) 那珂遺跡群第40次調査	28			28	0	
(7844) 板付遺跡群第32次調査	13			13	0	002	(9258) 飯氏二塚古墳第1次調査	36			32	4	030, 031
(7831) 有田遺跡群第17次調査	7			7	0		(9259) 博多遺跡群第79次調査	179			143	36	
(7916) 有田遺跡群第21次調査	10			10	0		(9263) 山崎古墳群第2次調査	38			31	7	032
(7917) 有田遺跡群第22次調査	7			7	0		(9271) 栗尾B遺跡群第1次調査	17			15	2	
(7918) 有田遺跡群第23次調査	22			22	0	003	(9280) 板付遺跡群	10			8	2	033
(7919) 有田遺跡群第24次調査	35			35	0		(9302) 吉塚本町遺跡群第4次調査	12			9	3	
(7920) 有田遺跡群第25次調査	4			4	0		(9303) 次郎丸遺跡群第2次調査	35		②	34	1	034, 035
(7921) 有田遺跡群第26次調査	10			10	0	004	(9307) 野芥大藪遺跡第1次調査	106			99	7	
(7922) 有田遺跡群第27次調査	11			11	0		(9309) 博多遺跡群第80次調査	88	④		83	5	036
(7923) 有田遺跡群第28次調査	27			27	0		(9310) 持田ヶ浦古墳群第2次調査	34			34	0	037
(7924) 有田遺跡群第29次調査	25	①		25	0		(9312) 東入部遺跡群第7次調査	81			72	9	038
(7926) 有田遺跡群第31次調査	22			22	0	005	(9313) 和田B遺跡群第1次調査	52			44	8	039
(8005) 有田遺跡群第33次調査	24			24	0		(9317) 雀居遺跡群第5次調査	64			51	13	040
(8006) 有田遺跡群第34次調査	11			11	0		(9326) 福岡城跡第22次調査	34			33	1	041
(7925) 有田遺跡群第30次調査	43			43	0	006	(9327) 橋本一丁遺跡第2次調査	41			32	9	042
(8106) 有田遺跡群第44次調査	9			9	0		(9328) 那珂遺跡群第44次調査	13			13	0	
(8132) 博多遺跡群第17次調査	19			19	0		(9329) 比恵遺跡群第50次調査	197			185	12	043, 044, 045
(8324) 博多遺跡群第20次調査	11			11	0	007	(9415) 比恵遺跡群第53次調査	40			37	3	045
(8714) 吉武遺跡群第11次調査	27			25	2		(9215) 脇山A遺跡群第7次調査	25			20	5	046
(8826) 今宿遺跡群第3次調査	23			23	0		(9334) 比恵遺跡群第51次調査	41			20	21	
(8949) 麦野C遺跡第1次調査	20			20	0		(9335) 井尻B遺跡群第4次調査	5			5	0	047
(9008) 那珂遺跡群第28次調査	5	①		0	5	008	(9339) 次郎丸遺跡群第3次調査	6			4	2	
(9050) 板付遺跡群第60次調査	2			2	0		(9341) 蒲田部木原遺跡第3次調査	70			70	0	048
(9236) 福岡城跡第20次調査	83			75	8	009	(9342) 博多遺跡群第82次調査	25			24	1	
(9218) 福岡城跡第8次調査	39			35	4	010	(9343) 東那珂遺跡第1次調査	19			18	1	049
(9219) 能古島第1次調査	44			44	0	011	(9345) 福岡城跡第23次調査	8	⑤		8	0	
(9220) 大原A遺跡第1次調査	76			72	4	012	(9348) 東入部遺跡群第8次調査	11			10	1	050
(9222) 博多遺跡群第78次調査	43			42	1	013	(9418) 東入部遺跡群第9次調査	9			9	0	
(9223) 藤崎遺跡群第22次調査	47			47	0	014	(9351) 熊本遺跡群第2次調査	9			9	0	051, 052
(9244) 藤崎遺跡群第23次調査	8			8	0		(9409) 四箇遺跡群第25次調査	11			11	0	
(9224) 那珂遺跡群第37次調査	40			36	4	015	(9356) 藤崎遺跡群第25次調査	19			19	0	053, 054, 055
(9225) 那珂遺跡群第38次調査	32			30	2		(9357) 立花寺遺跡群第3次調査	6			6	0	
(9264) 那珂遺跡群第41次調査	37			37	0		(9359) 羽根戸古墳群第7次調査	6			6	0	056
(9308) 那珂遺跡群第42次調査	4			0	4	016	(9372) 小笠木園場	2			2	0	
(9347) 那珂遺跡群第46次調査	24			23	1		(9373) 小笠木園場	2			2	0	057
(9226) 東入部遺跡群第5次調査	18	②		18	0		(9360) 飯倉D遺跡群第1次調査	165			159	6	
(9227) 東入部遺跡群第6次調査	14			14	0	017	(9361) 比恵遺跡群第52次調査	6			6	0	052
(9229) 比恵遺跡群第43次調査	36			36	0		(9362) 永浦遺跡群第1次調査	235		③	212	23	058
(9230) 雀居遺跡第3次調査	32			31	1	018	(9364) 西新町遺跡第6次調査	20			20	0	
(9319) 雀居遺跡第6次調査	10			10	0		(9411) 西新町遺跡第7次調査	16			15	1	059
(9453) 雀居遺跡第8次調査	12			12	0		(9365) 堀ノ内遺跡群第1次調査	13			13	0	
(9232) 野方久保遺跡群第4次調査	20			20	0	019	(9366) 警弥郷B遺跡群第3次調査	11			11	0	060
(9233) 次郎丸高石遺跡群第2次調査	6			2	4		(9368) 高畑遺跡第14次調査	4			4	0	
(9234) 桧原遺跡群第3次調査	80			72	8	020	(9457) 井相田C遺跡第5次調査	9			9	0	060
(9235) 徳永古墳群第3次調査	138			132	6	021, 022	(9370) 脇山B遺跡群第1次調査	6			6	0	
(9337) 女原上ノ谷製鉄第1次調査	7			7	0	022	(9371) 志水A遺跡群第1次調査	16			10	6	057
(9237) 比恵遺跡群第45次調査	10			10	0	023	(9401) 有田遺跡群第175次調査	14			13	1	
(9238) 在次郎丸高石遺跡第3次調査	36			30	6		(9422) 有田遺跡群第177次調査	17	⑥		15	2	058
(9261) 早良区賀茂免遺跡第2次調査	38			36	2		(9524) 有田遺跡群第179次調査	6			6	0	
(9239) 奈多砂丘B遺跡第1次調査	19			14	5	024	(9402) 下月隈B遺跡群第2次調査	4			4	0	059
(9240) 比恵遺跡群第46次調査	12			12	0		(9404) 下月隈C遺跡群第1次調査	8			8	0	
(9241) 雀居遺跡群第4次調査	140	③		138	2	025, 026	(9413) 天神森遺跡群第3次調査	40			40	0	060
(9242) 田村遺跡群第12次調査	22		②	21	1	026	(9424) 板付遺跡群第67次調査	2			2	0	
(9246) 西新町遺跡第5次調査	30			29	1		(9430) 下月隈B遺跡群第3次調査	15			15	0	059
(9248) 田村遺跡群第14次調査	13			12	1	027	(9403) 重留村下遺跡群第1次調査	33			33	0	
(9320) 田村遺跡群第15次調査	3			3	0		(9456) 四箇遺跡群第26次調査	4			4	0	060
(9251) 有田遺跡群第170次調査	13			10	3		(9406) 東那珂遺跡第2次調査	13			13	0	
(9338) 有田遺跡群第173次調査	2			0	2	028	(9407) 維餉限遺跡第5次調査	45			40	5	

遺跡名	総枚数	Image Pac	JPG	内訳		ページ
				35mm	フローニ	
(9523) 雑餉隈遺跡第7次調査	3			3	0	
(9550) 雑餉隈遺跡第8次調査	1			1	0	060
(9670) 雑餉隈遺跡第10次調査	2			2	0	
(9408) 井尻B遺跡群第5次調査	3			1	2	
(9410) カルメル修道院遺跡第4次調査	23			18	5	
(9414) 那珂遺跡群第41次調査	12			12	0	061
(9416) 福岡城跡第26次調査	14			14	0	
(9419) 堅粕遺跡群第6次調査	13	⑥		13	0	
(9420) 福岡城跡第27次調査	7			5	2	
(9432) 福岡城跡第28次調査	28		③	28	0	062
(9463) 福岡城跡第30次調査	2			2	0	
(9421) 席田大谷遺跡群第5次調査	6			6	0	
(9423) 博多遺跡群第84次調査	33			32	1	063
(9426) 玄海島海底遺跡第1次調査	1			1	0	
(9446) 志賀島遺跡群第4次調査	49			49	0	064
(9428) 古田B遺跡第1次調査	33			30	3	
(9507) 古田B遺跡第2次調査	16			16	0	065
(9429) 立花寺B遺跡群第1次調査	14			14	0	
(9511) 立花寺B遺跡群第2次調査	96			96	0	066, 067
(9431) 雑餉隈周辺遺跡群第6次調査	15			12	3	067
(9560) 南八幡遺跡第7次調査	5			5	0	
(9433) 博多遺跡群第85次調査	96			88	8	068, 069
(9435) 雀居遺跡群第7次調査	34			34	0	069
(9506) 雀居遺跡群第9次調査	35			34	1	070
(9346) 博多遺跡群第86次調査	44			44	0	
(9347) 那珂遺跡群第48次調査	16			16	0	
(9338) 那珂遺跡群第49次調査	15	⑦		15	0	071
(9439) 立花寺遺跡群第4次調査	6			6	0	
(9440) 西新町遺跡群第8次調査	20			17	3	
(9441) 那珂遺跡群第50次調査	36			35	1	072
(9442) 博多遺跡群第87次調査	22			13	9	
(9443) 比恵遺跡群第54次調査	8			6	2	
(9525) 比恵遺跡群第56次調査	3			3	0	073
(9445) 箱崎遺跡群第6次調査	13		④	13	0	
(9448) 箱崎遺跡群第7次調査	10			10	0	
(9447) 吉塚遺跡群第2次調査	11			11	0	074
(9449) 三苫遺跡群第2・3次調査	41			38	3	
(9450) 野芥遺跡群第4次調査	63			57	6	075
(9451) 福岡城跡第29次調査	8			6	2	
(9454) 野芥遺跡群第5次調査	68			62	6	076
(9458) 西新町遺跡群第9次調査	53			53	0	077
(9459) 清末遺跡群第4次調査	30			24	6	
(9460) 原遺跡群第17次調査	17			16	1	078
(9461) 比恵遺跡群第55次調査	10	⑧		9	1	
(9462) 長峰遺跡群第2次調査	14			12	2	079
(9501) 井尻B遺跡群第6次調査	23			23	0	
(9503) 香椎B遺跡群第1次調査	262			248	14	080, 081, 082
(9623) 香椎B遺跡群第2次調査	17			17	0	083
(9677) 香椎B遺跡群第3次調査	185			171	14	084, 085, 086
(9740) 香椎B遺跡群第4次調査	61			59	2	086
(9779) 香椎B遺跡群第5次調査	4			4	0	087
(9504) 周船寺遺跡群第8次調査	13			12	1	
(9505) 博多遺跡群第89次調査	97			97	0	088, 089
(9508) 南八幡遺跡群第6次調査	9			7	2	089
(9604) 麦野C遺跡群第3次調査	7			7	0	
(9509) カルメル修道院遺跡第5次調査	51	⑨	⑤	51	0	090
(9512) 那珂遺跡群第51次調査	8			8	0	
(9513) 那珂遺跡群第52次調査	12			12	0	091
(9528) 那珂遺跡群第53次調査	6			6	0	
(9530) 那珂遺跡群第54次調査	4			4	0	
(9514) 野多目A遺跡群第4次調査	74			59	15	092
(9515) 下月隈C遺跡群第2次調査	27			27	0	093

遺跡名	総枚数	Image Pac	JPG	内訳		ページ
				35mm	フローニ	
(9610) 下月隈C遺跡群第3次調査	7			7	0	093
(9517) 蒲田部木原遺跡第4次調査	31			28	3	
(9518) 大原D遺跡群第4次調査	48			48	0	094
(9519) 博多遺跡群第90次調査	36			35	1	
(9520) 井尻B遺跡群第7次調査	2			2	0	
(9522) 香椎E遺跡第1次調査	3	⑩		3	0	095
(9521) 席田青木遺跡群第3次遺跡	31			24	7	
(9531) 舞松原古墳第1次調査	29			29	0	
(9532) 博多遺跡群第91次調査	4			4	0	096
(9545) 博多遺跡群第93次調査	27			20	7	
(9533) 西新町遺跡第10次調査	71			65	6	097
(9537) 福岡城跡第31次調査	17			16	1	
(9620) 福岡城跡第35次調査	12			8	4	098
(9538) 五十川遺跡第3次調査	26			26	0	
(9648) 雑餉隈遺跡群第9次調査	18			17	1	
(9704) 五十川遺跡群第4次調査	13			13	0	099
(9539) 井相田C遺跡第6次調査	42		⑤	40	2	
(9540) 松木田遺跡第2次調査	8			8	0	100
(9641) 松木田遺跡第3次調査	66			66	0	
(9541) 比恵遺跡群第57次調査	92			88	4	101, 102
(9542) 浦江遺跡群第4次調査	19			19	0	102
(9543) 浦江谷遺跡群第1次調査	135			135	0	103, 104
(9651) 黒塔A遺跡第1次調査	19	⑩		19	0	104
(9666) 黒塔A遺跡第2次調査	25			25	0	
(9703) 西山古墳A第1次調査	9			9	0	105
(9546) 福岡城中堀第1次調査	13			13	0	
(9549) 谷上B1号墳第1次調査	35			32	3	
(9551) 博多遺跡群第94次調査	27			27	0	106
(9777) 博多遺跡群第106次調査	6			6	0	
(9552) 徳永A遺跡第4次調査	12			10	2	
(9642) 青木遺跡群第3次調査	6			6	0	107
(9553) 那珂遺跡群第55次調査	11			10	1	
(9556) 那珂遺跡群第56次調査	8			8	0	
	6637	10	5	6190	447	

2. 保存処理

(1) はじめに

当センターでは昭和57年の開館以来、市内出土埋蔵文化財のうち腐蝕や劣化により資料としての取り扱いや、通常の保管が困難なもの（主に対象となるのは木製品と金属製品）について、保存のための科学的処置を講じている。当初は直接的な処置のための限られた機器で作業を行ってきたが、平成11年度の増築により事前調査機器や大型の処理装置などが導入され、幅広い資料に対応が可能となっている。増築前後の施設の内容については、年報の第15号（増築前）、18号（増築後）をそれぞれ参照されたい。

(2) 有機物（出土木製品）

今年度処理を行ったのは17遺跡287点で、その内容は一覧表の通りである。この内、下月隈C遺跡4・5次の120点は国庫補助事業によるものである。

処理方法は資料の大きさ、構造、樹種、劣化状態などの諸条件を基に、主に次の三つの方法から選択している。一つは、開館以来中心的に用いている、PEG-4000を用いた「PEG含浸置換法」、もう一つは人工合成糖類ラクチトールを用いた「糖アルコール含浸置換法」、三つ目は大型の凍結乾燥機を用いた「真空凍結乾燥法」である。これらの方法にはそれぞれ一長一短あり、PEG法は一般的な小、中型の木製品、糖アルコール法はPEG法では処理が困難な漆器や木簡類、或いは展示等活用のスケジュールに合わせ短期間で処理が必要な資料、真空凍結乾燥法はPEG100%含浸では重量が嵩み取り扱いが困難な大型材や、変形を来す恐れのある広葉樹心持ち材というように使い分けている。

それぞれの処理法では、資料の洗浄、処理前写真の撮影、処理カードの作成といった共通作業の後、次のような工程で作業を行っている。

●PEG法

①資料の梱包…不織布で梱包し、メッシュのコ

ンテナ等に納める。

②PEG含浸…専用の含浸装置に資料を入れ、注水、加熱（60℃）。温度が安定したら初期濃度20%より置換開始。濃度は1週間に一度溶液を採取して、溶液の重量と水分蒸発後の重量比較により算出。約9ヶ月で100%まで濃度を上げる。

③遺物の取り上げ～洗浄、乾燥(PEGの固化)…溶液から取り出し後、温水で表面を洗浄し、自然乾燥。

④処理後の点検作業…変形、破損の有無を点検し、処理カードに記入。

⑤脱色及び表面処理…湯煎したアルコールによる表面洗浄。

⑥修復…エポキシ系接着剤による折損部の接合、エポキシ樹脂にマイクロバルーンを混入した材料による欠損の復元。

●糖アルコール法

①溶液の準備…ステンレス製の深型バットにラクチトールを水で溶解。初期濃度は30%程度。恒温乾燥機を80℃に設定し、加熱。

②ラクチトールの含浸置換…資料を溶液に入れ、容器の蓋をずらして水分蒸発により溶液濃度の上昇を図る。80℃で限界濃度（80%程度）まで含浸させる。期間は小型資料で10日～2週間程度。

③結晶化…資料を溶液から取り出し、表面を温水で軽く洗浄後、ラクチトールの粉末をまぶし、表面のラクチトール結晶を核として結晶化を資料内部まで進め固化させる。資料は50℃に設定した恒温乾燥機に入れるが、この際、温風が資料に直接当たらないように注意する（過乾燥の防止）。結晶化の時間は他施設での実績や経験的なもので判断している（小型資料で1週間～10日程度）。

④洗浄…表面に固着しているラクチトールの結晶を水で洗浄。

⑤乾燥…再び50℃の乾燥機で乾燥させる。

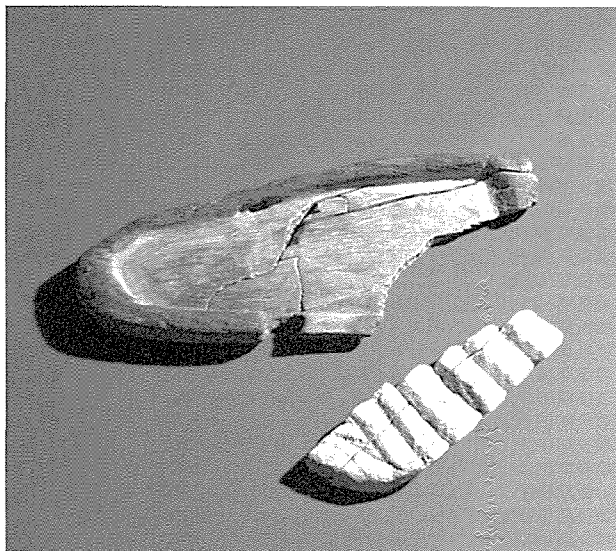
●真空凍結乾燥法

- ①資料の梱包…含浸槽付属のカゴに不織布を敷き、資料を並べる。
- ②PEGの含浸置換…装置を60℃に加熱し、約6ヶ月で50%まで濃度を上げる。
- ③遺物の取り上げ～洗浄…溶液から取り出し後、温水で表面を洗浄。
- ④凍結乾燥処理…資料を大型真空凍結乾燥機に入れ、装置を作動。まず-40℃で1ヶ月程予備凍結させ、その後チャンバーを真空にして、水分の昇華を図る。
- ⑤脱色及び表面処理…本来であればこの方法では資料が黒ずむことは殆ど無いが、今回は資料の内部に汚れが残留した上、中古のPEG

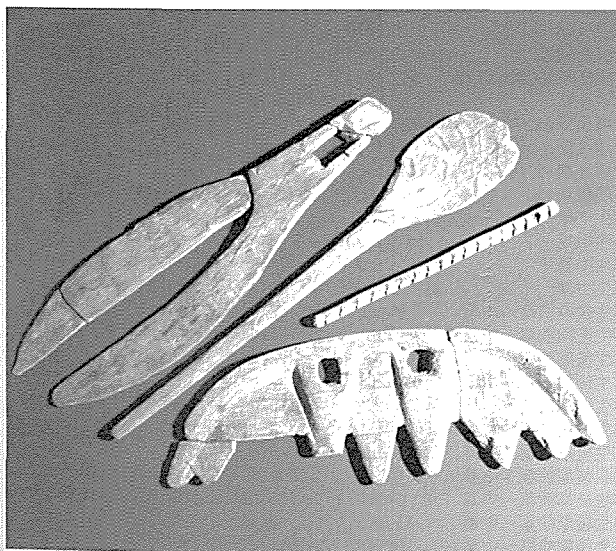
を用いたために黒ずんだことから、湯煎したアルコールによる表面処理を実施した。）

なお処理の完了した資料は全て埋蔵文化財センターの特別収蔵庫に保管している。

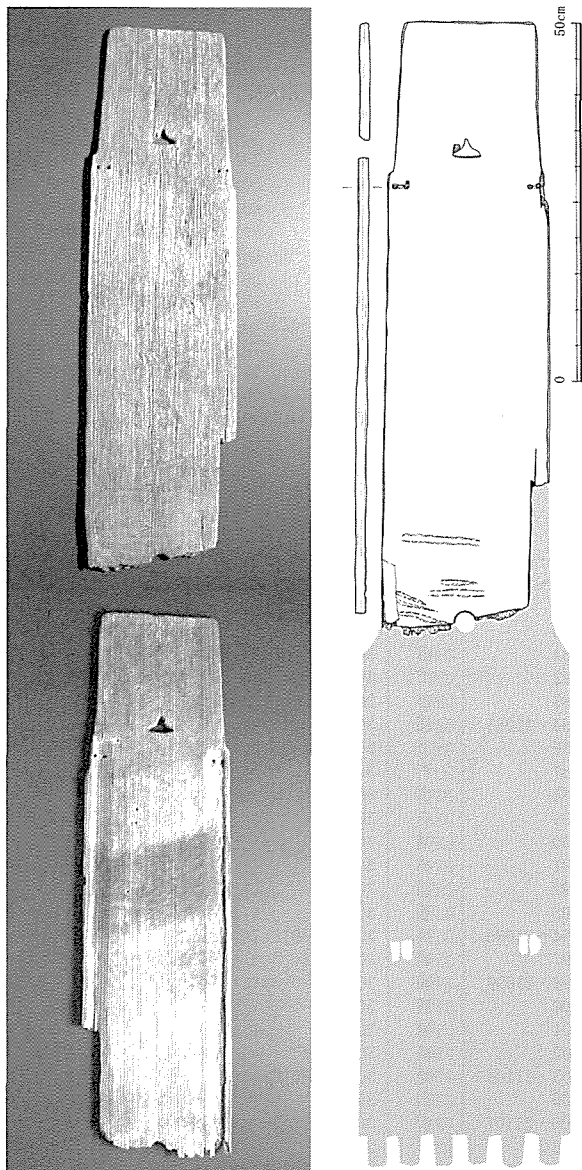
処理された資料の中で、下月隈C4次・5次出土品には弥生～古墳時代の農具や生活用具など当時の生活を知り得る貴重なものが多数含まれている。中でも5次調査出土の琴は先端部を失っているものの現存長85cm、最大幅約25cmを計り、非常に大きなものである。また農作業用と見られる履物や組み合わせ式案の脚などは隣接する雀居遺跡にも類例が見られる特殊な資料である。



写真W-1 下月隈C遺跡出土「履物」



写真W-2 下月隈C遺跡出土「農具など」



写真W-3 下月隈C遺跡出土「琴」
(左：処理後写真、右：実測図と復元図)

表4 平成17(2005)年度保存処理木製品一覽

処理番号	区分	遺物番号	資料名	時代	報告書Fig	処理方法
羽根戸原C2次 (調査番号: 8303 市報134集)						
21321	市	20018	木白	奈良前半~平安初頭 (9C)	60-18	PEG50%・凍結乾燥
拾六町平田2次 (調査番号: 9011 市報349集)						
21322	市	2036	柱材	弥生前期	22-145	PEG50%・凍結乾燥
雀居4次 (調査番号: 9241 市報748集)						
21323・21324	市	60276・60279	板材 (天板? 60279と接合)	弥生前期中葉~後半	159-222	PEG50%・凍結乾燥
免2次 (調査番号: 9261 市報536集)						
21303	市	70	建築材	弥生前期~7C初頭	97-70	PEG50%・凍結乾燥
21304	市	71	板材	弥生前期~7C初頭	97-71	PEG50%・凍結乾燥
21305	市	72	梯子	弥生前期~7C初頭	97-72	PEG50%・凍結乾燥
21306~21310	市	73~77	柱	弥生前期~7C初頭	97-73~77	PEG50%・凍結乾燥
21311	市	78	建築用板材	弥生前期~7C初頭	97-78	PEG50%・凍結乾燥
21312~21314	市	79~81	矢板	弥生前期~7C初頭	97-79~81	PEG50%・凍結乾燥
21315	市	82	柱材	弥生前期~7C初頭	97-82	PEG50%・凍結乾燥
21316	市	83	又柱	弥生前期~7C初頭	97-83	PEG50%・凍結乾燥
21317・21318	市	84・85	柱材	弥生前期~7C初頭	97-84・85	PEG50%・凍結乾燥
21319	市	86	束柱	弥生前期~7C初頭	97-86	PEG50%・凍結乾燥
21320	市	87	組み材	弥生前期~7C初頭	97-87	PEG50%・凍結乾燥
立花寺B2次 (調査番号: 9511 市報523集)						
21332~21335	市	90001~90004	曲物井戸枠	中世	106-90001~90004	PEG50%・凍結乾燥
21336	市	90005	曲物井戸枠、留め木	中世	未図化	PEG50%・凍結乾燥
下月隈C2次 (調査番号: 9515 市報566集)						
21337	市	11086	曲物側板	中世	未図化	PEG50%・凍結乾燥
雀居12次 (調査番号: 9715 市報747集)						
21325・21326	市	90134・90135	柱根	弥生前期~中期	未図化	PEG50%・凍結乾燥
21327	市	90147	臼	弥生前期~中期	338-44	PEG50%・凍結乾燥
下月隈C4次 (調査番号: 9828 市報750集)						
21037	市	30102	曲物	弥生~古墳?	未図化	PEG
21038	補	30103	加工木製品	弥生後期	145	PEG
21039	市	30104	板状木製品	弥生後期	145	PEG
21040	市	30105	曲物	古墳中期(5C末)	145	PEG
21041	市	30106	棒状木製品	古墳中期(5C末)	145	PEG
21042	補	30107	槽	弥生~古墳?	145	PEG
21043	市	30108	曲物の底板	弥生後期	146	PEG
21044	市	30109	柄柱部材	弥生後期	146	PEG
21045	補	30110	鋤	弥生後期	146	PEG
21046	補	30111	杓文字形木製品	古墳後期(6C代)	147	PEG
21047	補	30112	広鋤	古墳後期(6C代)	147	PEG
21048	補	30113	鋤	古墳後期(6C代)	147	PEG
21049	補	30114	板状木製品 (机の脚)	古墳後期(6C代)	147	PEG
21050	補	30115	鋸	古墳後期(6C代)	147	PEG
21051	補	30116	槽	古墳後期(6C代)	147	PEG
21052	補	30117	加工棒状木製品	古墳後期(6C代)	147	PEG
21053~21062	補	30118~30127	二又鋸	古墳後期(6C代)	148・149	PEG
21063	補	30128	ナスビ型鋤	古墳後期(6C代)	150	PEG
21064	補	30129	三又鋸	古墳後期(6C代)	149	PEG
21065	補	30130	鋤の柄	古墳後期(6C代)	150	PEG
21066~21068	補	30131~30133	鋤	古墳後期(6C代)	150	PEG
21069	補	30134	泥除け	古墳後期(6C代)	149	PEG
21070	補	30135	エブリ (半月形木製品)	古墳後期(6C代)	155	PEG
21071	補	30136	平鋸	古墳後期(6C代)	148	PEG
21072	補	30137	杵	古墳後期(6C代)	152	PEG
21073	市	30138	杵	古墳後期(6C代)	未図化	PEG
21074・21075	市	30139・30140	有孔板製品	古墳後期(6C代)	154	PEG
21076~21078	市	30141~30143	板状木製品	古墳後期(6C代)	154	PEG
21079	補	30144	机の脚	古墳後期(6C代)	154	PEG
21080	市	30145	板状 (30141と同一組部材)	古墳後期(6C代)	154	PEG
21081	市	30146	扉	古墳後期(6C代)	156	PEG
21082	市	30147	凹凸状木製品 (梯子?)	古墳後期(6C代)	156	PEG
21083	市	30148	建築部材	古墳後期(6C代)	154	PEG
21084・21085	補	30149・30150	板状木製品	古墳後期(6C代)	151	PEG
21086	補	30151	建築部材 (3cm角ほぞ穴あり)	古墳後期(6C代)	154	PEG
21087	市	30152	板状 (30151と同一個体)	古墳後期(6C代)	154	PEG
21088	市	30153	板状木製品	古墳後期(6C代)	156	PEG
21089	市	30154	柱状木製品	古墳後期(6C代)	155	PEG
21090	補	30155	二又鋸	弥生中期	159	PEG
21091	補	30156	ナスビ型二又鋤 (柄装着型)	弥生中期	159	PEG
21092	補	30157	二又鋸	弥生中期	159	PEG
21093	補	30158	平鋸	弥生中期	159	PEG
21094~21096	補	30159~30161	二又鋸	弥生後期前葉~中葉	160	PEG
21097	補	30162	三又鋸	弥生後期前葉~中葉	161	PEG
21098・21099	補	30163・30164	平鋸	弥生後期前葉~中葉	160	PEG
21100	補	30165	鋤の柄	弥生後期前葉~中葉	161	PEG
21101	補	30166	砧	弥生後期前葉~中葉	162	PEG
21102	補	30167	円形容器	弥生後期前葉~中葉	161	PEG
21103・21104	補	30168・30169	槽	弥生後期前葉~中葉	161	PEG
21105	補	30170	板状木製品 (泥除けか)	弥生後期前葉~中葉	162	PEG
21106・21107	市	30171・30172	建築部材	弥生後期前葉~中葉	162	PEG
21108	市	30173	板状木製品	弥生後期前葉~中葉	162	PEG
21109・21110	市	30174・30175	建築部材	弥生後期前葉~中葉	162・未図化	PEG
21111	補	30176	二又鋸	弥生中期~古墳初期	168	PEG
21112	市	30177	板状木製品 (机の脚か?)	弥生中期~古墳初期	169	PEG

[区分の補は国庫補助事業、市は市単費による]

表4 平成17(2005)年度保存処理木製品一覧

処理番号	区分	遺物番号	資料名	時代	報告書Fig	処理方法
21113	市	30178	板状 (30177と同一個体)	弥生中期～古墳初期	169	PEG
21114	市	30179	板状木製品	弥生中期～古墳初期	168	PEG
21115	補	30180	砧	弥生中期～古墳初期	168	PEG
21116・21117	市	30181・30182	棒状加工木製品	弥生中期～古墳初期	169	PEG
21118	市	30183	棒状木製品	弥生中期～古墳初期	169	PEG
21119	市	30184	棒状加工木製品 (仕口)	弥生中期～古墳初期	169	PEG
21120	市	30185	建築部材 (壁材) ほぞ穴あり	弥生中期～古墳初期	169	PEG
21121	市	30186	棒状木製品	弥生中期～古墳初期	169	PEG
21122	補	30187	容器 (脚部か?)	弥生中期～古墳初期	168	PEG
21123	補	30188	箱	弥生中期～古墳初期	168	PEG
21124	市	30189	板状木製品 (平鋸未製品か?)	弥生中期初頭	174	PEG
21125	市	30190	建築部材 (ほぞ穴あり)	弥生中期初頭	174	PEG
21126	補	30191	平鋸	弥生前期	171	PEG
21127	補	30192	板状木製品 (槽)	弥生前期	171	PEG
21128	市	30193	棒状木製品	弥生中期～後期	172	PEG
21129・21130	補	30194・30195	三又鋸の刃	弥生中期～後期	172	PEG
21131	補	30196	二又鋸	弥生～古墳?	175	PEG
21132・21133	市	30197・30198	井戸杵材	弥生後期末	173	PEG
21134	補	30199	二又鋸	弥生中期～後期	175	PEG
21135	市	30200	円盤状木製品	弥生中期～後期	175	PEG
21136	市	30201	二又鋸or平鋸	弥生～古墳?	175	PEG
21137	市	30202	有孔板製品	弥生前期終末～後期	151	PEG
21138	補	30203	平鋸	弥生前期終末～後期	151	PEG
21139	市	30205	板状木製品	弥生～古墳?	未図化	PEG
21140	市	30207	石斧の柄	弥生中期～古墳初期	未図化	PEG
21141	市	30208	盾の装飾品 (桜皮)	弥生中期～古墳初期	未図化	PEG
21142・21143	市	30210・30211	諸手鋸柄差込部	弥生前期	未図化	PEG
21144	市	30212	円形板状木製品	弥生前期	未図化	PEG
21145	市	30216	二又鋸の刃	弥生～古墳?	未図化	PEG
21146	市	30217	建築板材	弥生～古墳?	未図化	PEG
下月限C5次 (調査番号: 9922 市報795集)						
21147～21155	補	30101～30109	二又鋸	弥生～古墳	103・104	PEG
21156～21159	補	30110～30113	ナスビ形二又鋸	弥生～古墳	102	PEG
21160	補	30114	平鋸	弥生～古墳	104	PEG
21161	補	30115	三又鋸	弥生～古墳	104	PEG
21162	補	30116	二又鋸	弥生～古墳	103	PEG
21163	補	30117	鋤 (完形品)	弥生～古墳	105	PEG
21164	補	30118	鋤	弥生～古墳	106	PEG
21165～21167	補	30119～30121	鋤の柄	弥生～古墳	105	PEG
21168	補	30122	鉄斧の柄	弥生～古墳	106	PEG
21169	補	30123	杷 (サラエ)	弥生～古墳	102	PEG
21170	補	30124	杵 (くつ)	弥生～古墳	106	PEG
21171	補	30125	履物	弥生～古墳	106	PEG
21172	補	30126	机の脚	弥生～古墳	106	PEG
21173	市	30127	板状木製品	弥生～古墳	107	PEG
21174	市	30128	板状木製品	弥生～古墳	109	PEG
21175	補	30129	丸棒 (火鑢白)	弥生～古墳	106	PEG
21176	補	30130	槽	弥生～古墳	107	PEG
21177	市	30131	ねずみ返し	弥生～古墳	109	PEG
21178	補	30132	杵再利用の槌	弥生～古墳	107	PEG
21179	補	30133	杵未製品	弥生～古墳	107	PEG
21180	市	30134	棒状加工木製品	弥生～古墳	110	PEG
21181	補	30135	梯子	弥生～古墳	108	PEG
21182	補	30136	方形鋸	弥生～古墳	106	PEG
21183～21187	市	30137～30141	建築部材	弥生～古墳	109・110	PEG
21188	市	30142	曲物	中世 (12～14C)	未図化	PEG
21189	市	30143	板状木製品	古墳	100	PEG
21190	市	30144	槌 (カケヤ)	古墳	100	PEG
21191・21192	補	30145・30146	二又鋸	古墳	100	PEG
21193	補	30147	大足	古墳	100	PEG
21194	補	30148	槌	古墳	113	PEG
21195	市	30149	建築部材 (柱か?)	古墳	118	PEG
21196	市	30150	棒状木製品	古墳	101	PEG
21197	補	30151	鉄刃着装平鋸	古墳	101	PEG
21198	補	30152	梯子	弥生～古墳	108	PEG
21199	補	30153	諸手鋸	弥生～古墳	117	PEG
21200	補	30154	平鋸	弥生～古墳	117	PEG
21201	補	30155	三又鋸	弥生～古墳	117	PEG
21202	補	30156	諸手鋸	弥生～古墳	117	PEG
21203	補	30157	櫛	弥生～古墳	117	PEG
21204	市	30158	板状建築部材	弥生～古墳	118	PEG
21205	補	30159	鉄斧の柄	弥生～古墳	117	PEG
21206	補	30160	容器蓋	弥生～古墳	117	PEG
21207	補	30161	三又鋸	弥生	114	PEG
21208～21210	補	30162～30164	諸手鋸	弥生	114	PEG
21211	補	30165	泥除け	弥生	114	PEG
21212	補	30166	機織りのオサ?	弥生	115	PEG
21213	補	30167	杵	弥生	115	PEG
21214	市	30168	又柱	弥生	118	PEG
21215	補	30170	弓	弥生	116	PEG
21216	市	30171	棒状木製品	弥生	116	PEG
21217	市	30172	建築部材 (柱)	弥生～古墳	未図化	PEG

[区分の補は国庫補助事業、市は市単費による]

表4 平成17(2005)年度保存処理木製品一覧

処理番号	区分	遺物番号	資料名	時代	報告書Fig	処理方法
21218	市	30173	琴	弥生～古墳	112	PEG
21219	補	30174	二又鉞	弥生～古墳	120	PEG
21220	補	30175	諸手鉞	弥生～古墳	120	PEG
21221・21222	補	30176・30177	泥除け	弥生～古墳	120	PEG
21223	市	30178	鉞	弥生～古墳	未図化	PEG
21224	市	30179	又柱	弥生～古墳	121	PEG
21225	市	30180	石斧の柄未製品	弥生～古墳	121	PEG
21226	市	30181	手斧柄未製品	弥生	121	PEG
21227	市	30182	建築部材(柱)	弥生	122	PEG
21228	補	30183	木鏃	弥生～古墳	106	PEG
21229	市	30186	はし	中世(12～14C)	未図化	PEG
21230	補	30187	円盤型木製品	古墳	113	PEG
21231	補	30189	楽器 箏	弥生	115	PEG
21232	補	30190	木製紡錘車	弥生～古墳	112	PEG
21233	補	30200	鋤未製品	弥生	119	PEG
21234	市	30201	槌	弥生～古墳	101	PEG
21235	市	30203	建築杭材		未図化	PEG
博多124次(調査番号:0006 市報758集)						
21340・21341	市	30010・30011	木札	近世	100-1021・1022	糖アルコール
21342～21344	市	30039～30041	木札	近世	100-1015・1016・1018	糖アルコール
21345	市	30072	木札「順心庵」	近世	100-1014	糖アルコール
21346	市	30074	木札	近世	100-1020	糖アルコール
博多125次(調査番号:0023 市報759集)						
21328	市	40001	井戸杵(割り抜き)	古代	未図化	PEG50%・凍結乾燥
樋井川B1次(調査番号:0105 市報819集)						
21236	市	5001	直柄平鉞	弥生後期～古墳前期	35-w-01	PEG
21237	市	5002	直柄三叉鉞か	弥生後期～古墳前期	35-w-02	PEG
21238・21239	市	5003・5004	横槌	弥生後期～古墳前期	35-w-03・04	PEG
21240	市	5005	ナイフ形	弥生後期～古墳前期	35-w-05	PEG
21241	市	5006	板材(大足?)	弥生後期～古墳前期	35-w-06	PEG
21242・21243	市	5007・5008	板材	弥生後期～古墳前期	36-w-07・08	PEG
21244	市	5009	板材(大足?)	弥生後期～古墳前期	36-w-09	PEG
21245	市	5010	加工材(焼けている)	弥生後期～古墳前期	36-w-10	PEG
21246	市	5011	板材(線刻有り)	弥生後期～古墳前期	36-w-11	PEG
21247	市	5012	建築部材	弥生後期～古墳前期	36-w-12	PEG
21248	市	5013	加工板材(切り込み有り)	弥生後期～古墳前期	36-w-13	PEG
21249	市	5014	板材(材ツ?)	弥生後期～古墳前期	36-w-14	PEG
21250	市	5015	建築材のち転用杭か	弥生後期～古墳前期	36-w-15	PEG
21251	市	5016	棒状(竹)	弥生後期～古墳前期	36-w-16	PEG
21252～21255	市	5017～5020	杵	弥生後期～古墳前期	37-w-17～20	PEG
21256	市	5021	刳物腰掛け?	弥生後期～古墳前期	38-w-21	PEG
21257	市	5022	加工木(琴の部材か)	弥生後期～古墳前期	38-w-22	PEG
21258	市	5023	槽	弥生後期～古墳前期	39-w-23	PEG
21259	市	5024	建築材?	弥生後期～古墳前期	39-w-24	PEG
21260	市	5027	加工木(二分割)	弥生後期～古墳前期	40-w-27	PEG
21261	市	5028	棒状	弥生後期～古墳前期	40-w-28	PEG
21262	市	5029	建築材(扉の支えか)	弥生後期～古墳前期	41-w-29	PEG
21263・21264	市	5030・5031	建築材	弥生後期～古墳前期	41-w-30・31	PEG
21265	市	5032	竪杵	弥生後期～古墳前期	42-w-32	PEG
21266	市	5033	建築材	弥生後期～古墳前期	42-w-33	PEG
21267	市	5034	案	弥生後期～古墳前期	42-w-34	PEG
21268～21271	市	5035～5038	板材	弥生後期～古墳前期	43-w-35～38	PEG
21272・21273	市	5039・5040	杭	弥生後期～古墳前期	44-w-39・40	PEG
21274	市	5041	半裁した材	弥生後期～古墳前期	44-w-41	PEG
21275	市	5042	部材	弥生後期～古墳前期	44-w-42	PEG
21276	市	5043	板材	弥生後期～古墳前期	44-w-43	PEG
21277	市	5044	加工木	弥生後期～古墳前期	44-w-44	PEG
21278	市	5045	把手の一部?	弥生後期～古墳前期	補図-w-45	PEG
上月隈B1次(調査番号:0125 市報742集)						
21329	市	40001	臼	中世(12C後半～13C)	Fig. 26-16	PEG50%・凍結乾燥
21330	市	40002	建築部材	中世(12C後半～13C)	Fig. 26-17	PEG50%・凍結乾燥
比恵81次(調査番号:0239 市報782集)						
21331	市	30013	修羅?	弥生後期～古墳前期	未図化	PEG50%・凍結乾燥
吉塚祝町2次(調査番号:0362 市報912集)						
22024	市		漆器(塗膜のみ)	中世(13C後半)	未図化	アクリル樹脂塗布
那珂102次(調査番号:0454 未報告)						
21338	市		槽			PEG50%・凍結乾燥
都地泉水1次(調査番号:0458 未報告)						
21339	市		土壌・繊維・銅錯・竹	中世		凍結乾燥

[区分の補は国庫補助事業、市は市単費による]

(3) 金属製品・その他の遺物

今年度、木製品以外で何らかの作業を行った資料は、20遺跡471点である。その内容は別表に示す。金属器類の保存処理は一部例外を除き、概ね以下の工程により行っている。

●事前調査：肉眼による表面観察の他、実体顕微鏡による付着物等の確認、透過X線による内部構造、劣化状況の把握等。

●クリーニング：埋土や余分な腐食層の除去を目的とする。鉄製品はグラインダーやエアブラシを使用。銅、青銅製品の一部やこれを基調とする金銅製品、ガラス製品など、表面層のデリケートな資料は、顕微鏡下でのアルコール洗浄やメス等を用いたクリーニングを行っている。

●安定化：表中のデータには記していないが、主に銅・青銅製品について、ベンゾ・トリ・アゾールによる塩類の不活性化を図っている。鉄製品については、内部にメタルが残存し全てが錆に置き換わっていない資料について、水酸化リチウムのアルコール溶液に長時間漬け込む方法により脱塩処理を行う場合がある。

●樹脂含浸：いずれもアクリル樹脂を使用しているが、塗膜の厚さ等を考慮し、鉄製品にはパラロイドNAD-10を、銅・青銅製品にはパラロイドB-72を用いている。内部まで樹脂を浸透させる必要がある資料については50cmHg程度の減圧含浸を実施。

●修復：接着については、特に強度を必要としないものはセルロース系、強度を要する場合はエポキシ系の接着剤を使用。欠損の補填を行う場合、接着剤にマイクロバルーンを混ぜて粘度を高めたものや、鉄粉入りのエポキシ樹脂（国際ケミカル：ポップメタル）などを使用している。

処理後の資料については特別収蔵庫にて保管している他、必要に応じて特殊な材質の袋に脱水、脱酸素の機能を持った薬剤と共に資料を封入する方法（三菱ガス化学：RPシステム）での保管も行っている。

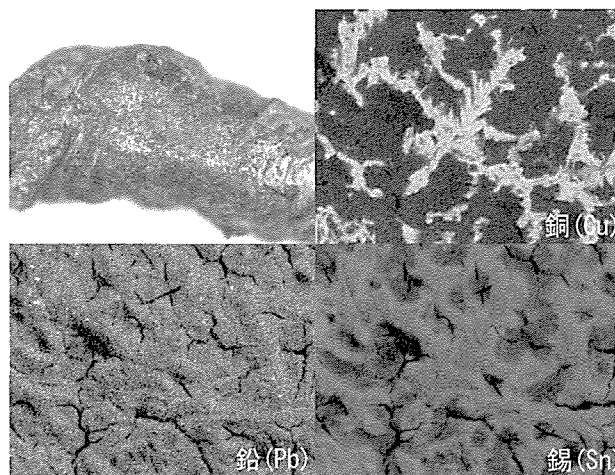
干隈D-1号墳出土の環状銅製品は、観察と

分析の結果、幅0.85mm程の銅板を螺旋状に巻いたものを環状にして、合わせ目を錫と鉛の合金、つまりハンダで留めていることが明らかになった。これまでの古墳出土品には類例を見いだせない、特異な構造を呈した資料である。

また元岡27次出土の石製小玉は、緑色と白が混じって一見すると翡翠の様である。しかし分析の結果、カリウムやクロムが特徴的な元素として表れ、翡翠の特徴であるナトリウムは検出されていない。また比重も2.8前後と、翡翠の3.3に比べると低い。この種の石材は縄文時代後期～晩期の装身具にしばしば見られるもので、肉眼観察で翡翠と誤認されてきたものもある。現在、熊本大学小畑弘己氏らと共同で県外資料の調査も進めており、雲母系の石材である可能性が示されている。鹿児島県や熊本県では原石や装身具未製品を出土する遺跡もあり、石材産地の同定や流通経路の解明が期待される。



写真M-1 干隈D-1号墳出土環状銅製品



写真M-2 同上接合部分の顕微鏡写真と面分析結果

(4) その他の作業について

埋蔵文化財センターでの作業の他、発掘調査現場での保存科学的作業も行っている。今年度は早良区藤崎遺跡35次調査での高取焼窯跡物原層剥ぎ取り、西区都地泉水遺跡1次調査での木棺墓内から検出された烏帽子と見られる漆膜の取り上げ、また別の木棺墓で副葬された湖州鏡の下部より検出された竹を用いた敷物の取り上げなどについて対応した。

この他に、埋蔵文化財以外の文化財について調査した事例を記しておく。資料は博多区入定寺に安置されている鑄造製と目される弘法大師像で、平成17年度の文化財保護審議委員会において市指定文化財に上程されていた。委員会の審議の中で材質調査を求める提言が出されていたが、像の高さが1m近くあり運搬が困難な上、埋蔵文化財センターの装置では対応できないことから、別の方法による調査が模索されていた。そのような中、過日開館したばかりの九州国立博物館において、可搬型の蛍光X線分析装置が導入されたことから、福岡市文化財整備課を中心に九州国立博物館、埋蔵文化財センターによる現地での共同調査が実施された。装置は電動ドリルの様な外観で片手で持てる大きさのもの（INNOV-X社製・日本電子販売）で、バッテリーを内蔵し脱着式のポケットPCが組み込まれており、場所を選ばない元素分析が可能である。分析範囲は径5～7mm程度で、数十秒間の測定で、ある程度のデータを得ることができる。結果として今回は半日ほどの作業で30カ所近い場所の測定を、担当者間で様々な協議を行いながら進めることができた。調査の結果、像は銅を主成分として鉛、錫を含む青銅であること、肉眼で色調の異なる鑄掛けや型持ち部分で配合比の異なる可能性のあること、裂装に残る文様の痕跡では鉄が強く検出されたこと、更に眼球部分では黒目部分で金と銀、白目部分では銀のみが検出され、製作当時は目が輝いていたことなどの成果があり、市指定文化財として必要なデータを提供することができた。



写真M-3 入定寺の弘法大師像



写真M-4 可搬型分析装置による作業状況

(5) 外部からの施設利用

平成11年度に導入された様々な文化財用事前調査機器類は、保存処理の事前調査のみならず考古学的に有益な情報が得られる装置としても有効である。これらを備えた埋蔵文化財関連施設は九州地域にほとんど無く、周辺地域自治体等を中心に利用の問い合わせが多く寄せられてきたため、利用基準（巻末参照）を定め、これに基づいた作業を行っている。

表5 平成17(2005)年度保存処理金属器一覽

処理No.	遺物No.	資料名	材質	時代	報告書Fig	処理方法
東入部2次(調査番号:9165 市報685集)						
21553	1352	鍛冶工具(鋸他工具錆着)	鉄	古墳後期	64-352	クリーニング・接合・樹脂含浸
福岡城址20(鴻臚館9)次(調査番号:9236 市報972集)						
21554	31009	鎮壇具(輪蓋)	銅・青銅	近世?	三野報文4	クリーニング・分析
21555	31010	鎮壇具(銅蓋蓋付)	銅・青銅	近世?	三野報文6	クリーニング・分析
金屎古墳(調査番号:9657 市報909集)						
21566		ガラス小玉	ガラス	古墳前期(4C後半)	34	クリーニング・分析
元岡27次(調査番号:0153 市報909集)						
21557・21588	10052・10053	小玉(結晶片岩緑色岩)	その他(石)	古墳	30-23・24	クリーニング・分析
21559	20001	鉄鏃	鉄	古墳後期	34	クリーニング・接合・樹脂含浸
21560	20002	耳環	銅・青銅	古墳後期	34	クリーニング・分析・樹脂含浸
下月隈C8次(調査番号:0219 未報告)						
21561		袋状鉄弁	鉄	弥生後期		クリーニング・樹脂含浸
箱崎32次(調査番号:0224 市報896集)						
21562		釘	鉄	中世	55-223	クリーニング・接合・樹脂含浸
21563		不明棒状品	鉄	中世	59-275	クリーニング・接合・樹脂含浸
元岡34次(元岡古墳群J群)(調査番号:0310 市報909集)						
21564・21565		耳環(金製細型)	その他金属	古墳後期(6C後半)	24-005・006	クリーニング・分析
金武城田2次(調査番号:0329 未報告)						
21566		袋状鉄弁	鉄	古代		クリーニング・樹脂含浸
石ヶ原古墳(調査番号:0340 市報909集)						
21567~21571	101~105	大刀	鉄	古墳後期	20-90~94	クリーニング・接合・樹脂含浸
21572	106	鏃	鉄	古墳後期	20-95	クリーニング・接合・樹脂含浸
21573	107	不明品	鉄	古墳後期	20-96	クリーニング・接合・樹脂含浸
21574~21587	108~121	鉄鏃	鉄	古墳後期	20-97~110	クリーニング・接合・樹脂含浸
21588	122	絞具	鉄	古墳後期	20-111	クリーニング・接合・樹脂含浸
21589・21590	123・124	留金具	鉄	古墳後期	20-112・113	クリーニング・接合・樹脂含浸
21591	125	不明板状製品	鉄	古墳後期	20-114	クリーニング・接合・樹脂含浸
21592	126	不明青銅片	銅・青銅	古墳後期	未図化	クリーニング・接合・樹脂含浸
21593	10053	大刀	鉄	古墳後期	未図化	クリーニング・接合・樹脂含浸
21594	10054	鏃	鉄	古墳後期	未図化	クリーニング・接合・樹脂含浸
21595	10055	不明	鉄	古墳後期	未図化	クリーニング・接合・樹脂含浸
21596	10056	大刀	鉄	古墳後期	未図化	クリーニング・接合・樹脂含浸
21597	10057	鏃	鉄	古墳後期	未図化	クリーニング・接合・樹脂含浸
21598	10058	大刀	鉄	古墳後期	未図化	クリーニング・接合・樹脂含浸
比惠87次(調査番号:0353 市報857集)						
21599	4001	獣骨(歯)	動物遺体			樹脂強化
吉塚祝町2次(調査番号:0362 市報912集)						
21600	100	不明鉄片	鉄	古代末(11C中頃)	17-100	クリーニング・接合・樹脂含浸
21601	163	銅梳片	銅・青銅	古代	24-163	クリーニング・分析・樹脂含浸
21602	402	銅銭(天禧通寶)	銅・青銅	中世(13C中頃~後半)	43-402	クリーニング
21603	412	和鉄	鉄	中世(13C後半~14C)	45-412	クリーニング・接合・樹脂含浸
21604	467	銅銭(宣和通寶)	銅・青銅	中世(13C後半)	46-467	クリーニング
21605	541	刀子片	鉄	中世(13C後半~末)	49-541	クリーニング・接合・樹脂含浸
21606	687	皇宋通寶	銅・青銅	中世(13C後半)	55-687	クリーニング
21607	770	短刀	鉄	中世(13C後半)	60-770	クリーニング
21608	850	鏃?	鉄	古代末	72-850	クリーニング・接合・樹脂含浸
21609	939	鉸具(大型幅広)	鉄	中世(14C前半)	75-939	クリーニング・接合・樹脂含浸
21610	1043	銅銭(皇)宋(通)寶	銅・青銅	中世	81-1043	クリーニング
21611	1044	鉤状鉄器	鉄	古代~中世	81-1044	クリーニング・樹脂含浸
21612	1045	火打ち金	鉄	古代~中世	81-1045	クリーニング・接合・樹脂含浸
21613	1066	刀子	鉄	古墳?	82-1066	クリーニング・樹脂含浸
21614	1067	不明鉄器(小型刃物?)	鉄	中世?	82-1067	クリーニング
21615	1164	耳環(銅芯金薄板太環)	銅・青銅	古墳後期	90-1164	クリーニング
21616	1165	帯金具	銅・青銅	古代?	90-1165	クリーニング
21617	1166	銅角棒(金加飾)	銅・青銅	古代~中世	90-1166	クリーニング・樹脂含浸
21618	1168	鉄鏃?片	鉄	古代~中世	90-1168	クリーニング・樹脂含浸
21619	1169	不明板状鉄器	鉄	古代~中世	90-1169	クリーニング・樹脂含浸
21620	1170	銅銭(皇宋通寶)	銅・青銅	中世	90-1170	クリーニング
21621	2036	鉄鏃?片(凹線入り)	鉄	古代末(11C後半~12C初頃)	102-2036	クリーニング・樹脂含浸
21622	2075	銅銭(元豊通寶)	銅・青銅	中世(14C前半)	105-2075	クリーニング
21623	2109	銅銭(聖宋(元寶))	銅・青銅	中世(14C前半)	109-2109	クリーニング
21624	2146	不明鉄器(鋳造品)	鉄	古代~中世	114-2146	クリーニング・樹脂含浸
21625	2220	銅銭(××元寶)	銅・青銅	中世(14C前半)	119-2220	クリーニング
21626	2346	銅銭(皇宋通寶)	銅・青銅	中世(14C)	131-2346	クリーニング
21627	2347	銅銭(大)観通(寶)	銅・青銅	中世(14C)	131-2347	クリーニング
21628	2376	銅銭(開元通寶)	銅・青銅	中世(14C前半)	135-2376	クリーニング
21629	2431	銅銭(元祐通寶)	銅・青銅	中世	140-2431	クリーニング
21630	2517	包丁鉄?	鉄	古代~中世	143-2517	クリーニング・樹脂含浸
21631	2519	銅銭(大××寶)	銅・青銅	中世	143-2519	クリーニング
21632	2520	銅銭(××元×)	銅・青銅	中世	143-2520	クリーニング
21633	2555	銅銭(□□××)	銅・青銅	古代末(11C後半~12C初頃)	145-2555	クリーニング
21634	2585	刀子	鉄	古墳?	147-2585	クリーニング・樹脂含浸
21635	2586	不明鉄片(鍋片?)	鉄	古代~中世	147-2586	クリーニング・樹脂含浸
21636	2587	銅銭(皇宋通寶)	銅・青銅	中世	147-2587	クリーニング
21637	2599	袋状鉄弁	鉄	古墳?	148-2599	クリーニング・樹脂含浸
21638	2600	鏃(口縁破片)	鉄	古代~中世	148-2600	クリーニング・樹脂含浸
21639	2601	銅銭(皇宋通寶か)	銅・青銅	中世	148-2601	クリーニング
21640	2670	刀子刃部	鉄	古代~中世	153-2670	クリーニング・樹脂含浸
21641	2671	鉄鏃(圭頭)	鉄	古墳?	153-2671	クリーニング・接合・樹脂含浸
21642	2672	鉄鏃	鉄	古墳?	153-2672	クリーニング・接合・樹脂含浸
21643	2675	銅銭(皇宋通寶)	銅・青銅	中世	153-2675	クリーニング
21644	2676	銅銭(皇××寶)	銅・青銅	中世	153-2676	クリーニング
21645	2677	銅銭(寛永通寶)	銅・青銅	中世	153-2677	クリーニング
21646	2678	銅銭(□□××)	銅・青銅	中世	153-2678	クリーニング
那珂99次(調査番号:0422 市報887集)						
21647	20010	銅銭(至大通寶)	銅・青銅	中世	23-72	クリーニング・接合・樹脂含浸
21648	20011	鉄鏃(方頭)	鉄	古墳後期(~古代)	17-37	クリーニング・接合・樹脂含浸
博多147次(調査番号:0426 市報892集)						
21649		鉄	鉄	未図化		脱塩・クリーニング・接合・樹脂含浸
21650		青銅鏡	銅・青銅	古墳前期?	132	クリーニング・安定化・樹脂強化

表5 平成17(2005)年度保存処理金属器一覽

処理No.	遺物No.	資料名	材質	時代	報告書Fig	処理方法
21651		鉄矛	鉄		128-85	クリーニング・樹脂含浸
21652		小玉	ガラス	中世	129-4	クリーニング・分析
21653		丸玉	ガラス	中世	129-7	クリーニング・分析
21654		小玉	ガラス	弥生～古墳	129-1	クリーニング・分析
21655		棒状製品	ガラス	中世	129-9	クリーニング・分析
21656		小玉	ガラス	中世	129-5	クリーニング・分析
21657		不明(不定形)装飾品?	ガラス	中世	129-10	クリーニング・分析
21658		小玉	ガラス	弥生～古墳	129-2	クリーニング・分析
21659		不明小片(容器片?)	ガラス	中世	未図化	クリーニング・分析
21660		小玉	ガラス	中世	129-3	クリーニング・分析
21661		連玉	ガラス	中世	129-6	クリーニング・分析
21662		不明(不定形)製品	ガラス	弥生～古墳	未図化	クリーニング・分析
21663		容器片	ガラス	中世	129-11	クリーニング・分析
21664		銅銭(五銖銭(若干大))	銅・青銅	古墳前期?	130・131-1	クリーニング
21665		銅銭(五銖銭(若干小))	銅・青銅	古墳前期?	130・131-2	クリーニング
21666		銅銭(半兩銭)	銅・青銅	中世	131-3	クリーニング
21667		銅銭(延喜通寶)	銅・青銅	古代	131-5	クリーニング
21668		銅銭(卓し元大寶)	銅・青銅	古代	131-4	クリーニング
21669		銅銭(宋通元寶)	銅・青銅	中世	未図化	クリーニング
21670		銅銭(元豐通寶)	銅・青銅	中世	未図化	クリーニング
21671		銅銭(皇宋通寶)	銅・青銅	中世	未図化	クリーニング
21672		銅銭(開元通寶)	銅・青銅	中世	未図化	クリーニング
21673		銅銭(祥符通寶)	銅・青銅	中世	未図化	クリーニング
21674		銅銭(開××寶)	銅・青銅	中世	未図化	クリーニング
21675		銅銭(皇宋通寶)	銅・青銅	中世	未図化	クリーニング
21676		銅銭(元祐通寶)	銅・青銅	中世	未図化	クリーニング
21677		銅銭(元豐通寶)	銅・青銅	中世	未図化	クリーニング
21678		銅銭(皇宋通寶)	銅・青銅	中世	未図化	クリーニング
21679		銅銭(紹聖元寶)	銅・青銅	中世	未図化	クリーニング
21680		銅銭(治平元寶)	銅・青銅	中世	未図化	クリーニング
21681		銅銭(至和元寶)	銅・青銅	中世	未図化	クリーニング
21682		銅銭(嘉祐通寶)	銅・青銅	中世	未図化	クリーニング
21683		銅銭(元豐通寶)	銅・青銅	中世	未図化	クリーニング
21684		銅銭(皇宋通寶)	銅・青銅	中世	未図化	クリーニング
21685		銅銭(天禧通寶)	銅・青銅	中世	未図化	クリーニング
21686		銅銭(開××寶)	銅・青銅	中世	未図化	クリーニング
21687		銅銭(祥符通寶)	銅・青銅	中世	未図化	クリーニング
21688		銅銭(□□□×)	銅・青銅	中世	未図化	クリーニング
21689		不明青銅器	銅・青銅	中世	未図化	クリーニング
21690		銅銭(嘉祐通寶)	銅・青銅	中世	未図化	クリーニング
21691		銅銭(皇宋通寶)	銅・青銅	中世	未図化	クリーニング
21692		銅銭(崇寧重寶)	銅・青銅	中世	未図化	クリーニング
21693		銅銭(開元通寶)	銅・青銅	中世	未図化	クリーニング
21694		銅銭(天聖元寶)	銅・青銅	中世	未図化	クリーニング
21695		銅銭(至道元寶)	銅・青銅	中世	未図化	クリーニング
21696		銅銭(淳化元寶)	銅・青銅	中世	未図化	クリーニング
21697		銅銭(景德元寶)	銅・青銅	中世	未図化	クリーニング
21698		銅銭(大觀通寶)	銅・青銅	中世	未図化	クリーニング
21699		銅銭(元豐通寶)	銅・青銅	中世	未図化	クリーニング
21700		銅銭(開元通寶)	銅・青銅	中世	未図化	クリーニング
21701		銅銭(政和通寶)	銅・青銅	中世	未図化	クリーニング
21702		銅銭(元豐通寶)	銅・青銅	中世	未図化	クリーニング
21703		銅銭(景祐元寶)	銅・青銅	中世	未図化	クリーニング
21704		銅銭(皇祐通寶)	銅・青銅	中世	未図化	クリーニング
21705		銅銭(××元×)	銅・青銅	中世	未図化	クリーニング
21706		銅銭(至道元寶)	銅・青銅	中世	未図化	クリーニング
21707		銅銭(熙寧元寶)	銅・青銅	中世	未図化	クリーニング
21708		銅銭(開元通寶)	銅・青銅	中世	未図化	クリーニング
21709		銅銭(開元通寶)	銅・青銅	中世	未図化	クリーニング
21710		銅銭(□□□□)	銅・青銅	中世	未図化	クリーニング
21711		銅銭(熙寧元寶)	銅・青銅	中世	未図化	クリーニング
21712		銅銭(開元通寶)	銅・青銅	中世	未図化	クリーニング
21713		銅銭(元豐通寶)	銅・青銅	中世	未図化	クリーニング
21714		銅銭(天禧通寶)	銅・青銅	中世	未図化	クリーニング
21715		銅銭(寬永通寶)	銅・青銅	中世	未図化	クリーニング
21716		銅銭(元祐通寶)	銅・青銅	中世	未図化	クリーニング
21717		銅銭(□□□□)	銅・青銅	中世	未図化	クリーニング
21718		銅銭(治平元寶)	銅・青銅	中世	未図化	クリーニング
21719		銅銭(祥符元寶)	銅・青銅	中世	未図化	クリーニング
21720		銅銭(淳化元寶)	銅・青銅	中世	未図化	クリーニング
21721		銅銭(嘉祐元寶)	銅・青銅	中世	未図化	クリーニング
21722～21728		銅銭	銅・青銅	中世	未図化	クリーニング
21729～21731		不明青銅器	銅・青銅	中世	未図化	クリーニング
21732		細形耳環か	銅・青銅	中世	未図化	クリーニング
博多148次(調査番号:0436 市報893集)						
21733		銅銭(皇宋通寶)	銅・青銅	中世	30-1	クリーニング
21734		銅銭(紹聖元寶)	銅・青銅	中世	30-2	クリーニング
21735		銅銭(熙寧元寶)	銅・青銅	中世	30-3	クリーニング
21736		銅銭(元豐通寶)	銅・青銅	中世	30-4	クリーニング
21737		銅銭(天聖元寶)	銅・青銅	中世	30-5	クリーニング
21738		銅銭(天聖元寶)	銅・青銅	中世	30-6	クリーニング
21739		銅銭(××元寶)	銅・青銅	中世	30-7	クリーニング
21740		銅銭(嘉祐通寶)	銅・青銅	中世	30-8	クリーニング
21741～21746		銅銭(寬永通寶)	銅・青銅	近世	30-9～14	クリーニング
21747		銅銭(治平元寶)	銅・青銅	中世	30-15	クリーニング
21748		銅銭(淳熙元寶)	銅・青銅	中世	30-16	クリーニング
21749		銅銭(元祐通寶)	銅・青銅	中世	30-17	クリーニング
21750・21751		銅銭(元豐通寶)	銅・青銅	中世	30-18・19	クリーニング
21752		銅銭(天聖元寶)	銅・青銅	中世	30-20	クリーニング
21753		銅銭(元豐通寶)	銅・青銅	中世	30-21	クリーニング
21754		銅銭(至和元寶)	銅・青銅	中世	30-22	クリーニング

処理No.	遺物No.	資料名	材質	時代	報告書Fig	処理方法
21755		銅銭(嘉祐通寶)	銅・青銅	中世	30-23	クリーニング
21756		銅銭(聖宋元寶)	銅・青銅	中世	30-24	クリーニング
21757		銅銭(元祐通寶)	銅・青銅	中世	30-25	クリーニング
21758		銅銭(□□××)	銅・青銅	中世	30-26	クリーニング
博多150次 (調査番号: 0479 市報894集)						
21759		銅銭(元豊通寶)	銅・青銅	中世	21-1	クリーニング
21760		銅銭(天聖?元寶)	銅・青銅	中世	21-2	クリーニング
21761		銅銭(天聖元寶)	銅・青銅	中世	21-3	クリーニング
21762		銅銭(洪武通寶)	銅・青銅	中世	21-4	クリーニング
21763		銅銭(元祐通寶)	銅・青銅	中世	21-5	クリーニング
21764		銅銭(嘉祐通寶か)	銅・青銅	中世	21-6	クリーニング
21765		銅銭(開元通寶)	銅・青銅	中世	21-7	クリーニング
21766		銅銭(□□××)	銅・青銅	中世	未図化	クリーニング
21767		銅銭(熙寧元寶)	銅・青銅	中世	21-9	クリーニング
21768		銅銭(崇寧重寶)	銅・青銅	中世	21-10	クリーニング
21769		銅銭(開元通寶)	銅・青銅	中世	未図化	クリーニング
21770		銅銭(治平元寶)	銅・青銅	中世	未図化	クリーニング
21771		不明青銅器	銅・青銅	中世	未図化	クリーニング
博多151次 (調査番号: 0482 市報895集)						
21772		銅銭(太平通寶)	銅・青銅	中世	未図化	クリーニング
21773		銅銭(□□□□)	銅・青銅	中世	未図化	クリーニング
21774		銅銭(寛永通寶)	銅・青銅	中世	未図化	クリーニング
21775・21776		銅銭(嘉祐通寶)	銅・青銅	中世	未図化	クリーニング
21777		銅銭(□□□□)	銅・青銅	中世	未図化	クリーニング
21778		銅銭(□□××)	銅・青銅	中世	未図化	クリーニング
21779		銅銭(皇宋通寶)	銅・青銅	中世	未図化	クリーニング
21780		銅銭(元豊通寶)	銅・青銅	中世	未図化	クリーニング
21781		銅銭(天聖元寶)	銅・青銅	中世	未図化	クリーニング
21782		銅銭(□□××)	銅・青銅	中世	未図化	クリーニング
21783		銅銭(元××寶)	銅・青銅	中世	未図化	クリーニング
21784		銅銭(紹聖元寶)	銅・青銅	中世	未図化	クリーニング
21785		銅銭(咸平元寶)	銅・青銅	中世	未図化	クリーニング
21786		銅銭(熙寧元寶)	銅・青銅	中世	未図化	クリーニング
21787・21788		銅銭(□□××)	銅・青銅	中世	未図化	クリーニング
21789		銅銭(祥符元寶)	銅・青銅	中世	未図化	クリーニング
21790		銅銭(□□××)	銅・青銅	中世	未図化	クリーニング
21791		銅銭(寛永通寶)	銅・青銅	中世	未図化	クリーニング
21792		銅銭(熙寧元寶)	銅・青銅	中世	未図化	クリーニング
21793		銅銭((開)元(通)寶)	銅・青銅	中世	未図化	クリーニング
21794		銅銭(皇宋通寶)	銅・青銅	中世	未図化	クリーニング
21795		銅銭(元豊通寶)	銅・青銅	中世	未図化	クリーニング
21796		銅銭(皇宋通寶)	銅・青銅	中世	未図化	クリーニング
21797		銅銭(□□□□)	銅・青銅	中世	未図化	クリーニング
21798・21799		銅銭(永樂通寶)	銅・青銅	中世	未図化	クリーニング
21800		銅銭(祥符元寶)	銅・青銅	中世	未図化	クリーニング
21801		銅銭(淳化元寶)	銅・青銅	中世	未図化	クリーニング
21802		銅銭(開元通寶)	銅・青銅	中世	未図化	クリーニング
21803		銅銭(□□元寶)	銅・青銅	中世	未図化	クリーニング
21804・21805		銅銭(□□□□)	銅・青銅	中世	未図化	クリーニング
21806		銅銭(□□××)	銅・青銅	中世	未図化	クリーニング
21807・21808		銅銭(寛永通寶)	銅・青銅	中世	未図化	クリーニング
21809		銅銭(開元通寶)	銅・青銅	中世	未図化	クリーニング
21810		銅銭(天禧通寶)	銅・青銅	中世	未図化	クリーニング
21811		銅銭(天□□寶)	銅・青銅	中世	未図化	クリーニング
21812		銅銭(□□元寶)	銅・青銅	中世	未図化	クリーニング
21813		銅銭(淳熙元寶)	銅・青銅	中世	未図化	クリーニング
21814		銅銭(治平元寶)	銅・青銅	中世	未図化	クリーニング
21815・21816		銅銭(□□□□)	銅・青銅	中世	未図化	クリーニング
21817		銅銭(□□元寶)	銅・青銅	中世	未図化	クリーニング
21818		銅銭(□□□□)	銅・青銅	中世	未図化	クリーニング
21819		銅銭((皇)宋(通)寶)	銅・青銅	中世	未図化	クリーニング
21820		銅銭(□□××)	銅・青銅	中世	未図化	クリーニング
21821		銅銭(××元寶)	銅・青銅	中世	未図化	クリーニング
21822		銅銭(政和通寶)	銅・青銅	中世	未図化	クリーニング
21823		銅銭(紹聖元寶)	銅・青銅	中世	未図化	クリーニング
21824		銅銭(元祐通寶)	銅・青銅	中世	未図化	クリーニング
21825		銅銭(寛永通寶)	銅・青銅	中世	未図化	クリーニング
21826		銅匙	銅・青銅	中世	未図化	クリーニング
21827		銅製品	銅・青銅	中世	未図化	クリーニング
21828		銅装小刀の柄	銅・青銅	中世	80	クリーニング
21829		不明(2点)	銅・青銅	中世	未図化	クリーニング
21830~21833		銅製品	銅・青銅	中世	未図化	クリーニング
21834		キセル雁首	銅・青銅	中世	未図化	クリーニング
21835		銅製箸?	銅・青銅	中世	未図化	クリーニング
21836		キセル雁首	銅・青銅	中世	未図化	クリーニング
21837~21849		銅製品	銅・青銅	中世	未図化	クリーニング
饗園丸山古墳 (調査番号: 0443 年報19)						
21850	501	湖州鏡	銅・青銅	中世	8	クリーニング・樹脂強化
21851	502	馬具	鉄	古墳後期	7-M6~M8	クリーニング・接合
千隈古墳群 (調査番号: 0471 市報904集)						
21852	68	環状銅製品	銅・青銅	古墳後期(5世紀末)	17-68	クリーニング・分析・安定化・樹脂含浸
21853	42~65	小玉	ガラス	古墳後期(5世紀末)	16	クリーニング・分析
21877	161~305	小玉	ガラス	古墳後期(5世紀末)	未図化	クリーニング・分析
比恵91次 (調査番号: 0401 市報898集)						
22022	4001	小型仿製鏡	銅・青銅	弥生~古墳?	31	クリーニング・安定化・樹脂含浸
元岡(出土地不詳) (調査番号: 市報909集)						
22023		耳環(金製細型)	その他金属	古墳後期?	13	クリーニング・分析

付) 土器圧痕レプリカ法作業の手引き

1. はじめに

「保存処理」とは性格の異なる作業であることから作業実績一覧には含めていないが、近年進めている「レプリカ法」について記す(文中敬称略)。

土器には製作時、粘土内に混入した種子等が焼成によって炭化、消滅し、ネガ(陰像、雌型)状態の空洞で残る。弥生土器に残る靱圧痕などは、農耕の痕跡を示すものとして古くから注目されてきたが、圧痕のままでは観察や細かい同定が困難である。そこで、この圧痕に印象材を入れて再びポジ(陽像、雄型)の状態にして電子顕微鏡で観察するのが丑野毅らによって提唱された「レプリカ法」で(丑野他1991)、この方法では、歯科用のビニル・シリコーン、Reposil(米国:Caulk社製)を印象材とし、資料保護のための離型材には水を用いている。確かに水は最も手軽なシリコーンの離型材となり得るが、蒸発、乾燥などの不安定要素もあり、作業のタイミングに経験と熟練を要する。文化財は非破壊が原則であり、より確実な資料保全が必要となる。同時に、レプリカ法は丑野も指摘するとおり考古学における植生、環境復元の研究において多くの利点を有しており、そのためには数多くの資料を調査対象としてデータを積み重ねる必要もあり、その様な観点からすれば水による離型は適した方法とは言いがたいと考える。そこで、ここでは文化財用のレプリカ作成に使用されるシリコーン(RTVゴム)を印象材とし、アクリル樹脂を離型材とする方法を紹介する。

2. 印象材について

いわゆる型取り用シリコーンはRTV(室温硬化型)タイプと呼ばれるもので、比較的粘度の高い液状の主剤に硬化剤を適量添加することでゴム状に硬化する。国内外各メーカーから様々な種類の商品が販売されている。その基本的性

質と特徴は以下のようなものである。

- 離型性に優れている。
- 流動性に優れ微細なすき間にも容易に流れ込むため、精密な型取りができる。
- 収縮率が小さく寸法安定性に優れているため、原型に忠実な複製品を作ることができる。
- 弾力性に富んでいるため、複雑な形状のもの型取りにも適している。
- 硬化時の発熱がないため原型を損傷する心配がない。

この様に様々な利点を有している一方、文化財に対して使用する場合、利点と相反する危険性も併せ持っており、作業に当たっては注意を要する。

シリコーンの優れた離型性は、平滑な面であれば有効に作用するが、埋蔵文化財では、これが当てはまるような平滑性を有する資料は皆無に等しい。特に土器は微細な粘土鉱物の集合体であり、胎土の粒子間には空隙が存在する。シリコーンはこれらの微細な隙間にも進入し硬化するのである。結果としてシリコーン硬化物の強度が土器粒子の結合強度を上回っていけば、外す際に土器の表面が崩壊しシリコーンに転写されるし、逆に下回っているとシリコーンがちぎれて土器内部に残留するか、シリコーンに含まれる油分が残留。いずれにしても文化財である資料の破壊に繋がることになる。そのためシリコーンと資料が直接接触することは絶対に避けなければならない、離型剤の使用が必須となる。

また離型剤を使用した場合も、これが完全である保証はなく、万が一シリコーンが資料と接する事態が生じた時に、できる限りシリコーンの内部への浸透、周囲への拡散を防ぐ措置が求められる。その一つは粘度の向上、もう一つは硬化時間の短縮である。更にシリコーンが資料に噛み込むような場合、シリコーンが不必要に強ければ資料の方が破壊され易いため、資料保全のためにはシリコーンの強度はそれほど高く

ない方がよい。こういった条件も加味しながら、シリコーン及び硬化剤、あるいは添加剤などを選択する必要がある。

型取り用シリコーンには硬化機構などの違いにより、大きく付加タイプ、縮合タイプの二種類があるが、上に挙げた諸条件を考慮した場合、圧痕転写には縮合タイプが適していると考えられる。

3. 離型剤について

離型剤の基本的な考え方は、シリコーンと資料が直接触れないために何らかの皮膜で表面を覆うというもので、文化財の型取りでは錫箔、水、アクリル樹脂等が使われる。

まず錫箔は、専門業者で主に使われる材料で、厚さ数ミクロンのものを筆などを使って資料に沿わせていく。柔らかく粘りがあるため細かい凹凸まで忠実に表現し、厚さも通常の複製であれば十分に無視できる範囲で、様々な点からも理にかなった材料という評価もある(増田1994)。しかし特殊な材料で入手が困難な事もあるが、それ以前に展示資料レベルのレプリカであれば無視できる厚さも、圧痕転写の様に電子顕微鏡観察などミクロなレベルには対応しきれない点で不適である。

次に、水は丑野が用いている方法であるが、最初にも記したように湿潤～乾燥のタイミングが難しく、作業する時間を選べないなど、不安定かつ効率が悪い。

これに対してアクリル樹脂は、水と同じような作用をしながら錫箔と同様に乾燥状態の皮膜を形成する。そして溶媒の量によって濃度調整が自由で可逆性があるため、作業後は資料を溶剤で洗浄することで元の状態に戻すことができる。ここで用いるアクリル樹脂は、文化財の保存処理で一般的なパラロイドB-72(米国ローム&ハース社製)である。パラロイドの初期状態は固形のビーズ状で、これを適度な濃度になるよう有機溶剤に溶かして使用する。溶剤が揮発することで樹脂分が固化し、被膜を形成する。

溶剤はアセトン、トルエン、キシレン、アルコールなど様々なものがあるが、安全性や作業性を考慮してアセトンを用いる。

4. 作業工程とその内容

今回の内容は、最も中心となる資料保護や印象材の部分を変えている以外は、基本的に丑野論文を踏襲するものであり重複する部分も多いが、以下作業の流れと具体的内容、使用する材料や道具について順を追って記す。

なお、作業に当たっては有機溶剤や樹脂など人体に有害な影響を及ぼす、あるいは火災などの危険を伴う物質を使用する。これらは特に人体への影響に関して言えば、短期間で爆発的な作用を及ぼすものではないものの、繰り返しの作業による蓄積が懸念される。くれぐれも事故の無いように、作業場所における火気の排除、換気等と共に、手袋、マスクなど保護具の着用を徹底する。

(1) 事前作業

①資料の選定

肉眼もしくは実体顕微鏡下にて、土器片一点一点の破断面を含む表面を観察し、圧痕の有無・可否を選定、抽出する。

②資料の洗浄

乾燥状態下でのブロー、あるいは流水などで圧痕内の泥を洗い流す。実体顕微鏡下での作業が望ましい。補助的に面相筆などを使用してもよいが、くれぐれも表面情報を失わない程度に止める。

③作業前記録

資料整理のためと、万が一のトラブルによる破損に備え、土器全体における圧痕の位置関係を記録する写真、図面、圧痕そのものの現況での実体顕微鏡写真など、必要な記録を残す。

④資料の保護＝離型剤の塗布

アクリル樹脂：パラロイドB-72の5～10%アセトン溶液を筆などで塗布する。塗布範囲は後の作業も考え圧痕を中心に直径20mmφ程度。樹脂濃度や塗布の回数などは対象資料の胎土、焼

成などにより異なるため、その都度調整する。得られる情報の精度と資料の保護は背反する要素であり、妥協点の見極めにはやはりある程度の熟練を要する。目安としては艶がでる一步手前が理想である。塗膜が厚くなりすぎた場合にはアセトンで洗浄、調整する。

(2) 転写作業

①印象材の充填

離型用塗膜の固化を確認したら、印象材を準備する。印象材はここでは東芝シリコンTSE-350を使用する。これは同社製品においては一般型取り用に位置付けられている汎用品である。標準的な使用では硬化剤に同社製CE-621を主剤100に対して1の割合で添加し、十分に攪拌するが、それでは硬化時間が長くなるため、硬化剤を規定量の3倍程度に増やしたり、更には速硬化性の硬化剤や硬化促進剤を使用する場合もある。特に冬場など気温が低い場合は硬化に時間がかかるため、恒温乾燥機などで適度な加熱(30~40°C程度)を行い硬化促進を図る。

また必要以上の流動性を抑えるため、超微粉末シリカ：アエロジル(日本アエロジル他)を適量添加して粘度調節を行ってもよい。ただし粘度を上げすぎると細かい隙間にシリコンが行き渡らなかつたり、あるいはシリコン内への気泡が残留して観察の障害にもなるので注意を要する。

圧痕へのシリコンの充填には医療用注射器(針無し)を用いるとスムーズである。またこの時点で最終的な電子顕微鏡(SEM)観察を見越して、電子顕微鏡用の試料台を固定しておくことと便利である。圧痕部分には低粘度のシリコンを注入し、その後、増粘剤を添加して粘度を上げたシリコン(ヘラですくうと明瞭な角が立つ程度)を、試料台を包むように塗り圧痕部分に押し付ける。

②転写試料(雄型)の取り出し

シリコンの硬化を確認したら、転写試料を外す前にSEM用試料台に極細のマジックペンなどで資料の番号などを書いておくと後々混乱を

生じない。

その後、資料を傷めないように注意しながら試料台と共にシリコンを外す。圧痕が深かつたり、入り口が狭く内部が広がったような形状の場合はシリコンがちぎれるので注意を要する。万が一シリコンがちぎれて圧痕内に残った場合、化学反応で硬化したシリコンを再度溶解することは不可能であるため、針などを用いて物理的に除去する(ほじくり出す)しかない。ただし有機溶剤によって若干膨潤するので、土器をシンナーなどに浸けることで多少、取り出し易くなる。

(3) 事後処置

①資料の洗浄

アセトンなどの溶剤を用いて離型用に塗布したアクリル樹脂を洗い流す。この時も資料表面を傷つけないようにすることは言うまでもない。

ただし洗浄せずに残すのも一つの方法である。見栄えを気にしなければ、アクリル樹脂は強化、保護材としても作用しており、圧痕の保全に有効となる。また塗布部分が濡れ色となっているので、圧痕の場所を見つけやすいという利点も挙げられよう。

②転写試料(雄型)の観察

観察には走査型の電子顕微鏡(Scanning Electron Microscope=SEM)を用いる。走査型電子顕微鏡は可視光線をレンズで拡大する光学顕微鏡と異なり、細く絞った電子線を試料表面に走査させて、表面情報を画像化するものである。光学顕微鏡よりも高い分解能、倍率、被写界深度を特徴とし、圧痕のような微小な立体物の観察に適している。得られる画像はモノクロであるが、この場合、色彩情報は不要であり何ら問題は無い。ただし、電子線の発生のために、試料は試料室内に納め内部雰囲気を真空状態にする必要があることから、観察像を得るまでに若干の手間と時間を要する。またシリコンなど導電性の無いものでは試料が帯電し観察に支障を来すため、観察に当たっては、事前に試料に対してカーボンや貴金属の蒸着(スパッタリ

ング) 処理をして、導電性を持たせる必要がある。観察そのものは電子顕微鏡の操作が主となるので、以下は省略する。

5. おわりに

以上のようにして出来上がった圧痕は砂粒の集合体という土器のイメージからはかけ離れた、驚くほど緻密な情報を有している。また、これまで、農耕開始の議論において、出土種子や土壌のプラントオパール分析ではコンタミネーションの問題が指摘されてきたのに対し、圧痕レプリカ法は、土器型式さえ認定できれば正に動かぬ証拠と言える強みを持つ。現在、山崎純男らを中心に縄文後晩期の土器に残る植物、動物遺体の圧痕から、栽培植物の抽出や縄文農耕論にアプローチする試みが進められている他、九州全体に研究の輪が広がりつつある。これには何より多数の資料の蓄積が不可欠であり、この方法が大いに貢献しているものと自負している。

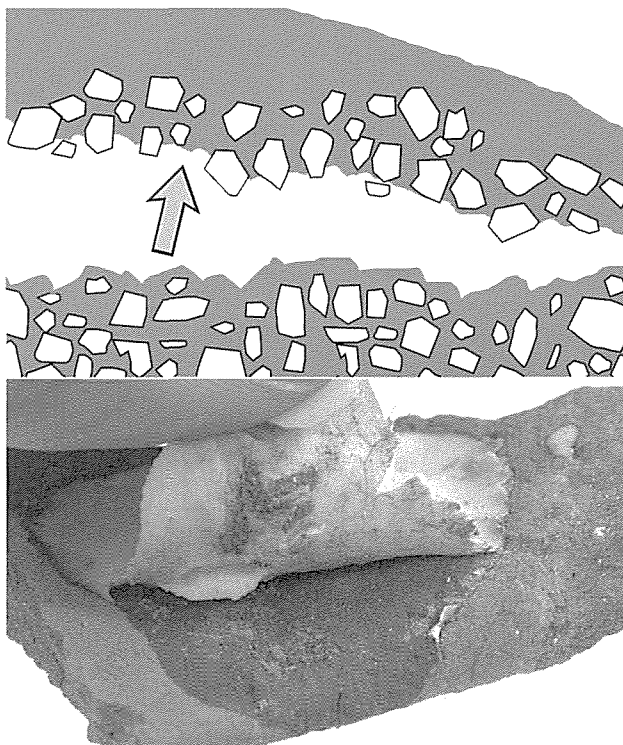
なお、最後に改めて述べるまでもないが、ここに記したのは単なる方法論のみであり、レプリカ法を有効な研究として昇華させるには、その前後にある土器から有用な圧痕を見つけ出す作業や、レプリカの観察による同定作業の重要

性を忘れることはできない。これらは当然、マニュアル化できるものではなくひたすら経験の蓄積に頼るのみである。

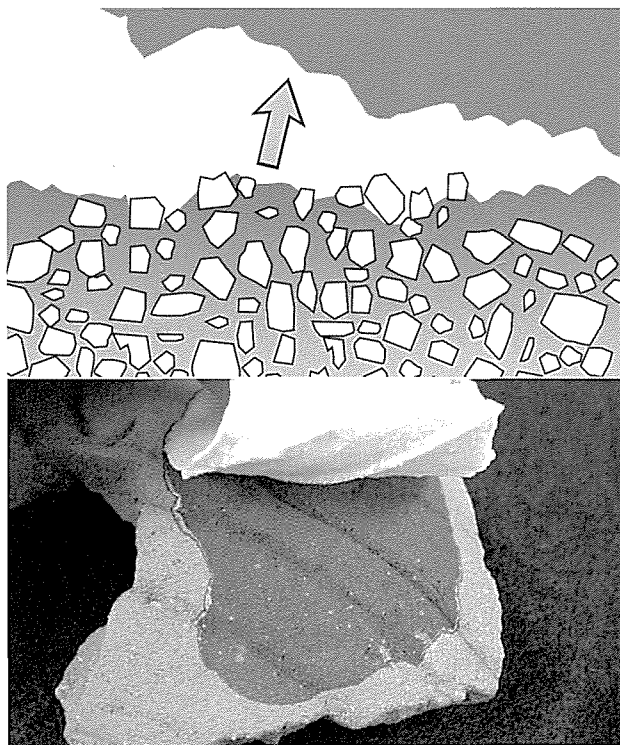
その一方で、これまで述べてきた方法論は、考古学においても非常に有効であろうこの研究をより広めるために、一般化すべく記したものであるが、文化財は工業製品のように一定の条件下で機械的に作られたものではなく、手作業によって生み出されている。この様な資料に対して一律的なマニュアルで対峙することは、十分な情報を引き出せないばかりでなく、資料の破壊を招く恐れもある。この手引きはあくまでも導入、補助として位置付け、実際には材料や道具の基本的な性質を十分に理解すると同時に、文化財を扱う上での不文律という枠組みの中で様々な材料、方法を模索し、より安全で高精度の情報採取が行われることを望む。

(参考文献)

丑野毅・田川裕美1991「レプリカ法による土器圧痕の観察」『考古学と自然科学』第24号 日本文化財科学会
増田啓1994「レプリカ文化財学—文化財複製品の実体と提案—」『文化財学論集』奈良大学文化財学科

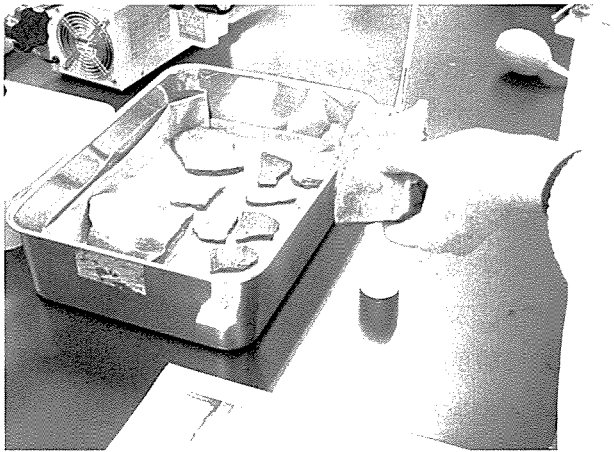


胎土の結合が弱いと表面が剥離



胎土の結合が強い場合も樹脂成分が土器内に残留する

シリコン樹脂が土器と直接触れた場合のトラブル (上段: 模式図・下段: 模造土器による実験)



工程①-離型材（アクリル樹脂）の塗布



工程⑤-試料名の記入



工程②-圧痕にシリコン樹脂を注入（初期充填）



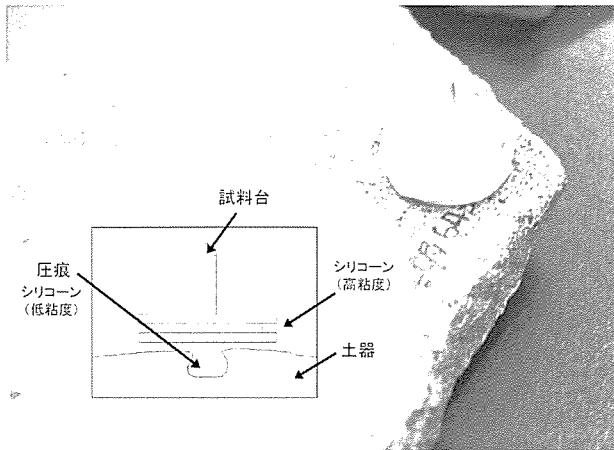
工程⑥-圧痕の向き・深さに注意し取りはずす



工程③-電子顕微鏡用試料台を取り付ける



工程⑦-土器圧痕レプリカ



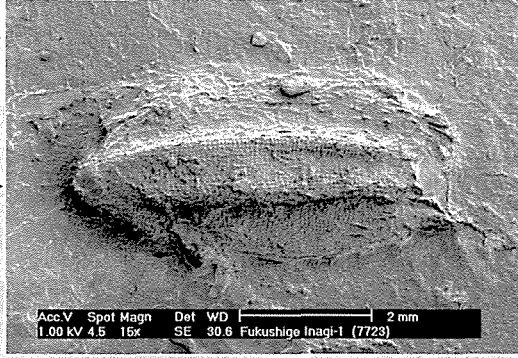
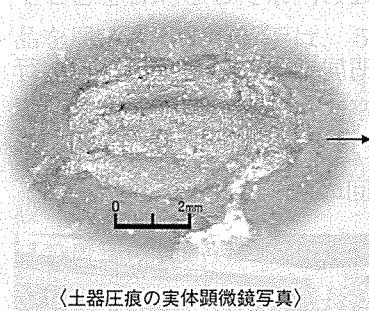
工程④-充填完了時と模式図



工程⑧-蒸着後、電子顕微鏡で観察

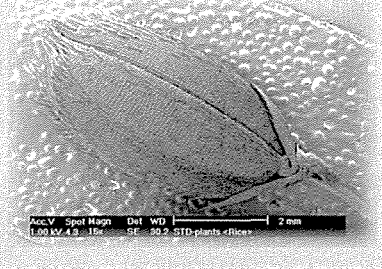
レプリカ法の作業工程

～福重稲木遺跡1次調査～

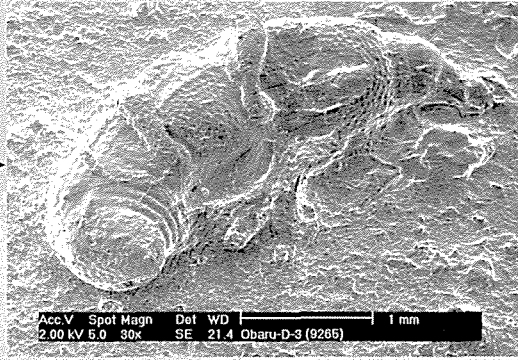
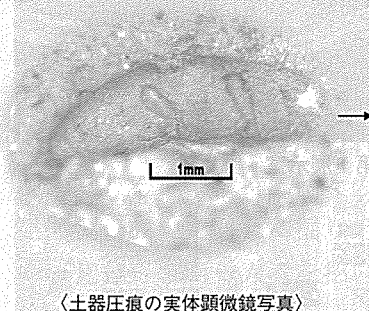


←圧痕レプリカ〈電子顕微鏡写真〉

↓現生試料〔イネ〕

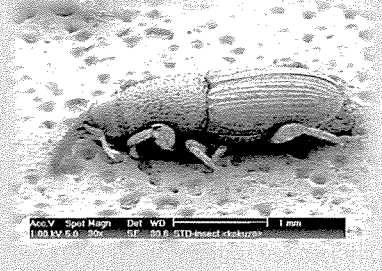


～大原D遺跡3次調査～

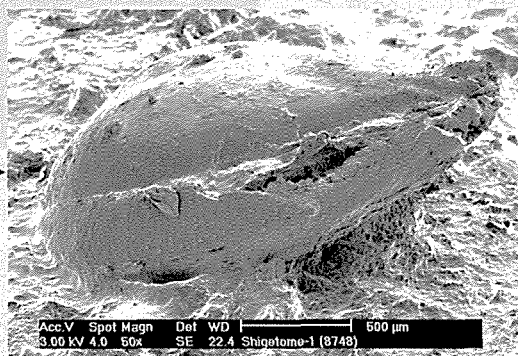
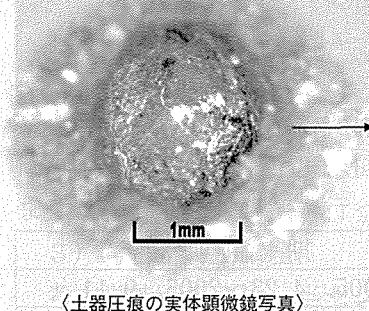


←圧痕レプリカ〈電子顕微鏡写真〉

↓現生試料〔コクゾウムシ〕

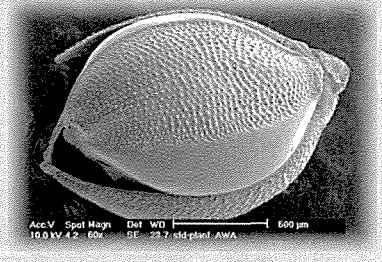


～重留遺跡1次調査～

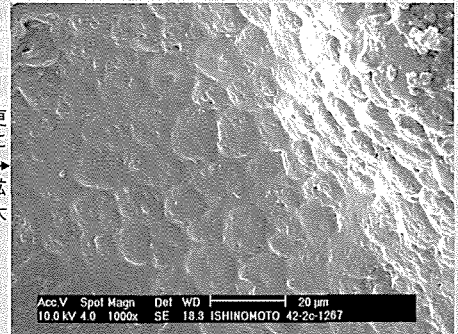
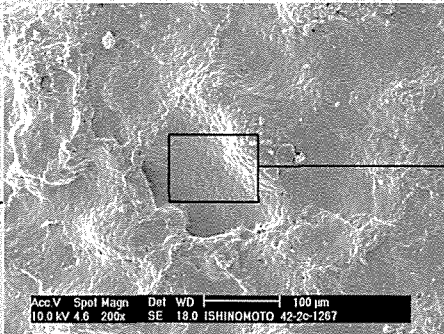
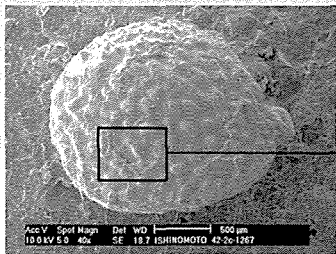


←圧痕レプリカ〈電子顕微鏡写真〉

↓現生試料〔アワ〕



～石の本遺跡（熊本県）～



拡大

更に
拡大

↑1,000倍という高倍率でも組織を再現

レプリカ法の調査結果例

3. 教育普及活動

(1) 展 示

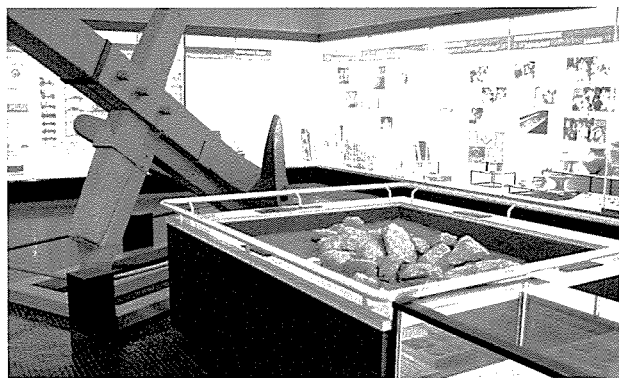
1) 常設展示

当センターでは「埋蔵文化財の保存・保護」と、本市の都市像のひとつである「海と歴史を抱いた文化都市」に則した「弥生以来の海外交易の拠点都市」を展示の主テーマとしている。

第1展示室では、埋蔵文化財の発掘調査から遺物・記録類が収蔵、管理・活用されるまでの一連の流れと、木器・金属器等の科学的保存処理の成果を「埋蔵文化財とは何か」、「埋蔵文化財の保存処理」、「埋蔵文化財の修復」、「発掘現場での保存科学的作業」、「埋蔵文化財の収蔵管理と活用」、「埋蔵文化財と考古学」、「旧石器・縄文時代の福岡」の項目で展示している。木器・金属器等の科学的保存処理の成果を展示している。

第2展示室では、江戸時代に鎖国されるまで日本の玄関口であり続けた本市の特徴をとりあげ、最も脚光を浴びた「奴国の時代」の弥生時代と国内最大の国際貿易港であった「中世都市博多」の時代に焦点をあて、それぞれ「奴国の拠点集落那珂・比恵遺跡」、「奴国以前」、「大型建物」、「環濠・大溝・条溝」、「墳丘墓」、「争う」、「交流と交易」、「祭る」、「装う」、「まかなう」、「つくる」と「日本の玄関・博多」、「鴻臚館の時代」、「匠」、「海外との交易」、「国内の交易」、「中世博多の情景」、「たしなむ・あそぶ」、「戦乱」の項目でテーマ展示を行っている。

第3展示室は、部門展示室として短期展示を行っており、考古学講座に合わせた企画展・発掘調査速報展・特別展などを実施している。2005年度は下表のとおり7回の展示会を実施した。



第1展示室



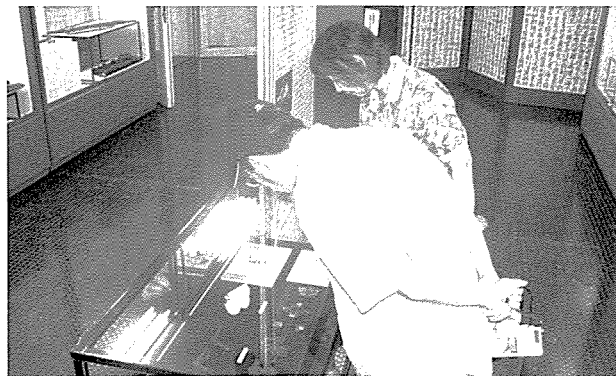
第2展示室

【第3展示室展示会開催一覧】

種 別	名 称	期 間
企画展	「歴史の萌芽 一起源を探る」前期展	2005. 4. 23～2005. 9. 11
	「歴史の萌芽 一起源を探る」後期展	2005. 11. 12～2006. 4. 9
特別展	「甦る出土遺物—平成16年度保存処理成果—」展	2005. 9. 17～2005. 11. 6
	「平成17年度市指定文化財資料」展	2006. 3. 23～2006. 4. 2
速報展	元岡・桑原遺跡発掘調査速報展①	2005. 6. 8～2005. 6. 19
	今宿五郎江遺跡発掘調査速報展	2005. 6. 21～2005. 7. 3
	元岡・桑原遺跡発掘調査速報展②	2005. 8. 27～2005. 9. 11



「今宿五郎江遺跡発掘調査速報」展



「甦る出土遺物—平成16年度保存処理成果—」展

2) 館外展示（出前展示）

埋蔵文化財保護行政を多くの人々に理解して頂くことを目的として市内の公共施設の一部に出土品を展示する出前展示は、5ヶ所で行っている。

将来的には市民の出入りする市役所・区役所の各フロアーに資料展示を行い、市民や内外の来訪者が容易に時代の変遷がわかる出前ミニ博物館建設の第1歩でもある。

【設置場所】

市長応接室／市議会議員・副議長室／教育長室
／教育委員会理事室・総務部長室／福岡国際センター



福岡市議会議員室展示状況

(2) 公開講座

1) 考古学講座

考古学講座は、2005年度のテーマを「歴史の萌芽」として、一般に理解されているようで実は不明確である事象、特に個々の歴史の起源について発掘調査成果をもとに掘り下げるべく、それぞれの研究分野の第一人者を招いて6回の講座を開催した。

2) 発掘調査速報講座

発掘調査速報講座は、2004年度に発掘調査が行われた遺跡のうち重要と思われるものについて速報講演を実施しているが、本年度は紙面を賑わすような発見が少なく、大規模かつ長期調査の総括発表という形で、今宿五郎江遺跡、鴻臚館跡、元岡・桑原遺跡群と、年度末恒例の市内遺跡調査総まくりの計4回の講演を行った。

3) 考古学特別講座

考古学特別講座は、当センターが実施した2004年度の保存処理業務における成果を主体とした「甦る出土遺物」と埋蔵文化財課との共催による「福岡市・釜山広域市文化財担当者交流事業報告」の2回の特別講座を実施した。



考古学講座風景（柳沢先生）



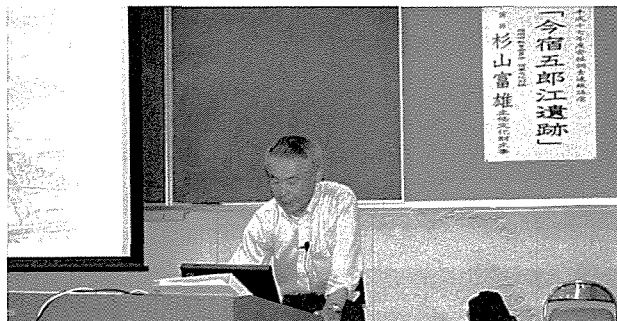
考古学講座風景（井上先生）

考古学講座一覧

	開催日	講演内容	講師	受講者数
第1回	2005. 5. 14(土)	土器のはじまり	熊本大学 小畑弘己氏	110名
第2回	2005. 6. 11(土)	農耕のはじまり	東京大学 後藤直氏	116名
第3回	2005. 7. 9(土)	弥生時代のはじまり	西南学院大学 高倉洋彰氏	112名
第4回	2005. 10. 8(土)	青銅器文化のはじまり	福岡市教育委員会 宮井善朗	101名
第5回	2005. 11. 12(土)	巨大古墳のはじまり	宮崎大学 柳沢一男氏	125名
第6回	2006. 2. 11(土)	都城のはじまり	奈良文化財研究所 井上和人氏	74名

発掘調査速報講座一覧

	開催日	講演内容	講師	受講者数
第1回	2005. 6. 25(土)	「今宿五郎江遺跡」	福岡市教育委員会 杉山富雄	58名
第2回	2005. 8. 27(土)	「元岡・桑原遺跡」	福岡市教育委員会 米倉秀紀	123名
第3回	2006. 1. 14(土)	「鴻臚館跡」	福岡市教育委員会 折尾 学	54名
第4回	2006. 3. 18(土)	遺跡調査総まくり -平成17年度の調査から-	福岡市教育委員会 山崎龍雄	59名



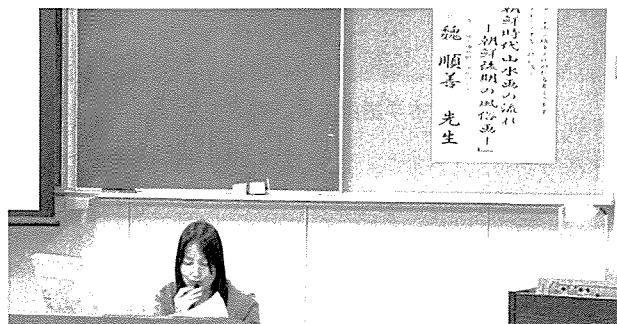
発掘調査速報講座風景（杉山）



発掘調査速報講座風景（米倉）

特別講座一覧

	年月日	講演内容	講師	受講者数
第1回	2005. 6. 4(土)	「朝鮮後期の風俗画」 平成17年度福岡市・釜山広域市文化財担当者交流事業報告	大韓民国釜山広域市博物館 魏 順善 氏	49名
第2回	2005. 9. 17(土)	甦る出土遺物 -平成16年度保存処理成果について-	福岡市教育委員会 比佐陽一郎	44名



特別講座風景（魏氏）



特別講座風景（比佐）

4) シンポジウム

2005年度のシンポジウムは、バンテン遺跡研究会との共同開催の1回である。この数年、派遣依頼によりインドネシア国立考古学研究センターとの共同調査に本市職員を派遣している。このため調査成果を市民へ公開して歴史的にも九州が広く世界と繋がっていることを理解する場を設ける観点から実施した。会場はアジア美術館。



発表風景（ナニッ・ウィビソノ氏）

	年月日	講演内容	講師	受講者数
第1回	2005. 7. 10(日)	アジア中近世港市城跡 保存公開 国際シンポジウム	インドネシア国立考古学研究センター トニー・ジュピアントノ氏 ナニッ・ウィビソノ氏 吉備国際大学 山口裕子氏 佐賀県立名護屋城博物館 高瀬哲郎氏 今帰仁村教育委員会 金武正紀氏 北九州市芸術文化振興財団 中村修身氏 福岡市教育委員会 瀧本正志	68名

(3) 教育

1) 出前授業

福岡市の教育指針では、「学ぶことに興味を持ち、未知のものを知る感動を味わい、自由な発想を持って様々なことを構想するなど、知的探求心を高めることや郷土福岡を誇りとする気持ちを育むこと」が重視されている。

このため平成17年度から当センターでは、上記の趣旨を生かし、併せて義務教育学校における郷

土の歴史学習の充実と拡大を図るための具体的施策として、依頼のあった学校へ当センターの学芸員（文化財専門職）を派遣し、出土品に直接触れて歴史を身近に感じると共に古代の生活体験をとおして歴史認識を深めることを授業の骨格とする出前授業要項を策定して本格的に事業を開始した。

平成17年度授業プログラム

A. 小学校・養護学校小学部

No.	授業名	時間	単位	構成	授業概要
1	大昔の暮らし① 「石と鉄のナイフ」	45分	学級	班	黒曜石製と鉄製のそれぞれのナイフで切り比べ体験。道具の発達を体験をとおして学習。
2	大昔の暮らし② 「火起こし」	45分	学級	班	火起こし道具を用いて発火を体験。火がもたらす生活への影響と変遷を学習。
3	大昔の暮らし③ 「祈りとまじない」	45分	学級	班	祈りに用いた品々をとおして大昔の人々の生活と想いを学習。祈りが現在に繋がっていることも学ぶ。
4	大陸との交わり 「シルクロードと鴻臚館」	45分	学級	班	木簡を製作して奈良時代の役人の生活を体験。当時の生活と遠く西アジアとの交流を学ぶ。

B. 中学校・養護学校中学部（理科）

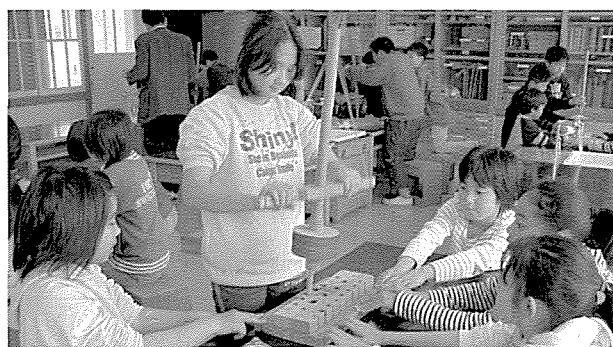
No.	授業名	時間	単位	構成	授業概要
11	酸化と還元	50分	学級	班	酸化（錆の発生）と還元（金属の生産方法）を出土品の金属器を用いて具体的に学習。

C. 中学校・養護学校中学部（社会）

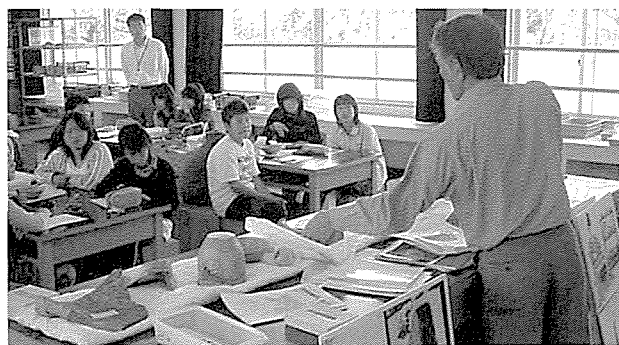
No.	授業名	時間	単位	構成	授業概要
21	金属器の出現と役割	50分	学級	班	黒曜石製と鉄製の各ナイフで切り比べ体験。金属製品が歴史的に果たした役割を学習。
22	焼き物の変遷	50分	学級	班	縄文土器・弥生土器・土師器・須恵器・磁器の違いをとおして生産技術の発達を学習。



野芥小学校



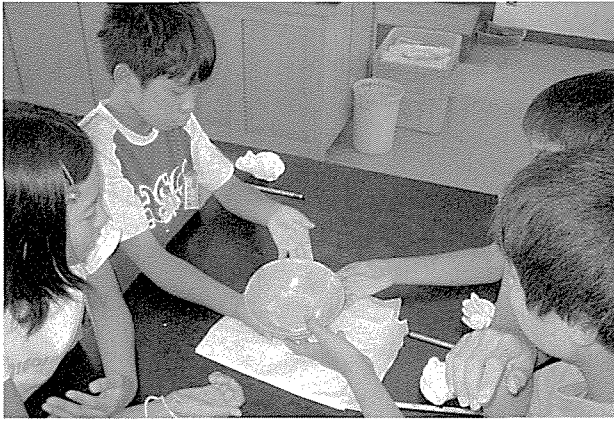
吉岐南小学校



西戸崎小学校



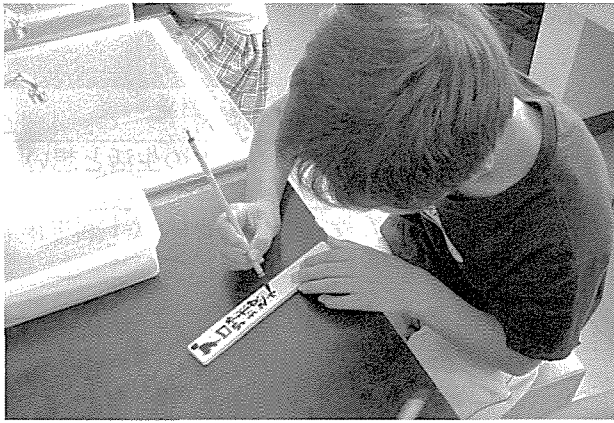
早良小学校



塩原小学校



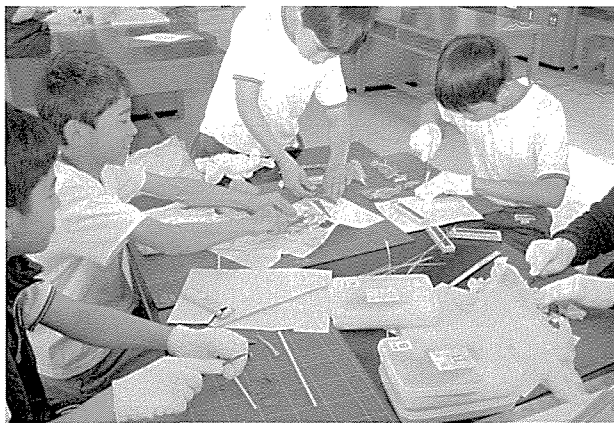
東花畑小学校



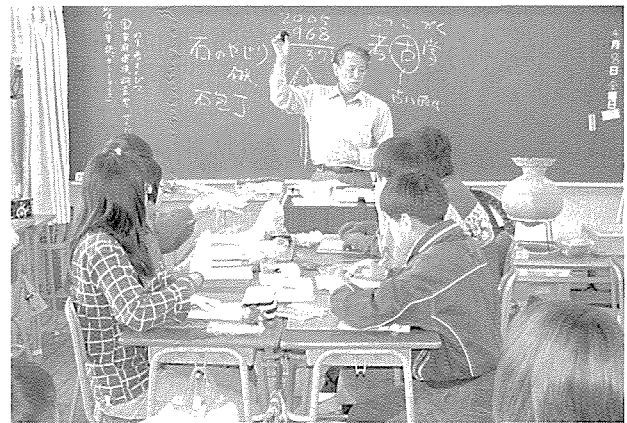
塩原小学校



月隈小学校



筥松小学校



馬出小学校



多々良中学校



板付中学校

授業日	学校名	生徒数	授 業 No.	授業回数	講 師
2005年 4月12日(火)	馬出小学校	34	大昔のくらし①「石と鉄のナイフ」	1	瀧本・柳田
2005年 4月14日(木)	菟岐南小学校	91	大昔のくらし②「火起こし」	3	瀧本・柳田
2005年 4月15日(金)	春住小学校	45	大昔のくらし①「石と鉄のナイフ」	2	柳田
2005年 4月15日(金)	野芥小学校	90	大昔のくらし②「火起こし」	3	瀧本
2005年 4月19日(火)	西長住小学校	78	大昔のくらし③「祈りとまじない」	2	瀧本
2005年 4月19日(火)	賀茂小学校	85	大昔のくらし①「石と鉄のナイフ」	3	柳田
2005年 4月20日(水)	宮竹小学校	143	大昔のくらし①「石と鉄のナイフ」	4	瀧本・柳田
2005年 4月21日(木)	東花畑小学校	87	大昔のくらし②「火起こし」	3	瀧本
2005年 4月22日(金)	宮松小学校	90	大昔のくらし①「石と鉄のナイフ」	3	瀧本
2005年 4月22日(金)	弥生小学校	56	大陸との交わり「シルクロードと鴻臚館」	2	柳田
2005年 4月26日(火)	筑紫丘小学校	85	大昔のくらし①「石と鉄のナイフ」	3	柳田
2005年 4月26日(火)	内野小学校	63	大昔のくらし③「祈りとまじない」	2	瀧本
2005年 4月27日(水)	早良小学校	26	大昔のくらし①「石と鉄のナイフ」	1	瀧本
2005年 4月28日(木)	金武小学校	39	大昔のくらし①「石と鉄のナイフ」	1	瀧本
2005年 5月 6日(金)	三筑小学校	94	大昔のくらし③「祈りとまじない」	3	瀧本・柳田
2005年 5月10日(火)	月隈小学校	79	大陸との交わり「シルクロードと鴻臚館」	2	柳田
2005年 5月12日(木)	原小学校	109	大陸との交わり「シルクロードと鴻臚館」	3	柳田
2005年 5月13日(金)	西戸崎小学校	47	大陸との交わり「シルクロードと鴻臚館」	2	柳田
2005年 5月19日(木)	香住丘小学校	151	大昔のくらし③「祈りとまじない」	4	瀧本・柳田
2005年 5月20日(金)	舞松原小学校	99	大陸との交わり「シルクロードと鴻臚館」	3	瀧本・柳田
2005年 5月27日(金)	北崎小学校	25	大昔のくらし①「石と鉄のナイフ」	2	柳田
2005年 6月 1日(水)	屋形原養護学校	10	大昔のくらし②「火起こし」	2	瀧本
2005年 6月 3日(金)	日佐小学校	64	大陸との交わり「シルクロードと鴻臚館」	2	柳田
2005年 6月 9日(木)	塩原小学校	85	大陸との交わり「シルクロードと鴻臚館」	3	瀧本・柳田
2005年 6月30日(木)	周船寺小学校	161	大陸との交わり「シルクロードと鴻臚館」	4	瀧本・柳田
2005年 7月 5日(火)	玄洋中学校	24	元寇防塁	1	柳田
2005年 7月 6日(水)	多々良中学校	195	金属器の出現と役割	5	瀧本
2005年 7月 7日(木)	高宮中学校	187	金属器の出現と役割	5	瀧本・柳田
2005年10月11日(火)	板付中学校	72	焼き物の変遷	2	瀧本・柳田
2005年10月12日(水)	板付中学校	36	焼き物の変遷	1	瀧本
2005年10月13日(木)	板付中学校	37	焼き物の変遷	1	瀧本・柳田
2005年10月14日(金)	板付中学校	73	焼き物の変遷	1	瀧本・柳田
2005年10月14日(金)	板付中学校	36	酸化と還元	1	片多
2005年10月18日(火)	板付中学校	36	酸化と還元	1	比佐・片多
2005年10月19日(水)	板付中学校	73	酸化と還元	2	比佐・片多
2005年10月20日(木)	板付中学校	37	酸化と還元	1	比佐・片多
2006年 2月 2日(木)	今津養護学校	8	大昔のくらし②「火起こし」	1	瀧本
2006年 2月 3日(金)	那珂中学校	26	焼き物の変遷	1	柳田
合 計		2,737		87	

2) 職場体験

本センターでは、中学生に将来の職業や進路に対する関心や理解を深めてもらうことを目的として、センター業務を体験する職場体験を受け入れている。

平成17年度は平成17年9月21日(水)と22日(木)の二日間にわたって福岡市立三筑中学校2年生5名が参加し、土器の修復作業などの体験を行った。

3) 博物館実習

博物館実習の依頼をうけ、以下の内容で実施した。

- ①実習期間：平成17年8月16日～8月27日までの2週間
- ②実習生：15名（立命館大学・福岡教育大学・福岡女子短期大学・九州産業大学・西南学院大学・福岡大学・筑紫女学園大学）
- ③実習内容：オリエンテーション（1日）教育普及実習（貸出・展示6日）図書資料実習（1日）遺物保存処理実習（2日）

(4) 資料提供

市民・小中学校・各種博物館・大学などの研究機関・出版社・報道関係などの利用希望に対して、考古資料や記録資料を提供している。資料利用は大きく館内利用と館外利用（貸出）に分けられる。館内利用件数は203件で、その内訳は考古資料の閲覧・実測・撮影などが199件20,649点、写真・図面等の記録類資料の閲覧が4件460点である。考古資料点数が昨年度より大幅に増加したのは、福岡市の市史編纂に伴う骨類の調査が要因である。

館外利用（貸出）件数は160件で、考古資料3,438点と記録類等916点の利用があった。利用内訳は、1年以上の長期貸出38件、博物館などの展示のための短期貸出122件である。

館内利用			館外利用				
利用種別	件数	点数	貸出種別	件数	点 数		
					考古資料	写真他	合計
考古資料	199	20,649	長期貸出	38	2,104	24	2,128
写真・記録類	4	460	短期貸出	122	1,334	892	2,226
図 書	297	1,387	計	160	3,438	916	4,354
計	500	22,496					

(5) 施設の利用

部内および対外の考古学研究会での当館施設利用が6件あった。

年 月 日	団 体 名	利用内容	人 数	利用施設
2005年 4月16日(土)	福岡旧石器文化研究会	例 会	34名	研修室
2005年 4月23日(土)	東アジア考古学研究会	例 会	22名	研修室
2005年10月 2日(日)	東アジア考古学研究会	例 会	11名	研修室
2005年11月25日(金)	鴻臚館跡調査研究指導委員会	指導委員会	20名	研修室
2006年 2月17日(金)	バンテン遺跡研究会	調査報告会	33名	研修室
2006年 3月19日(日)	東アジア考古学研究会	例 会	10名	研修室

(6) 図書室の収蔵と閲覧

1) 図書の受入

①2005年度図書受入状況 購入161冊(一般6・雑誌155)・受贈4,672冊(一般4,586・雑誌86)
計4,833冊(一般4,592・雑誌241)

②2005年度末蔵書数53,910冊(購入8,631・受贈45,279)

③定期受入雑誌 一部受贈を含めて以下の25種である。

(国内発行) 貝塚・古代文化・季刊考古学・月刊考古学ジャーナル・古代学研究・ふるさとの自然と歴史・文化財発掘出土情報・物質文化・考古学雑誌・古文化談叢・文化庁月報・考古学研究・Museum Kyusyhu・古代学研究・信濃・CSN西日本文化・博物館研究・九州考古学

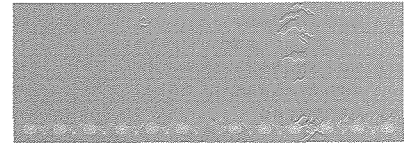
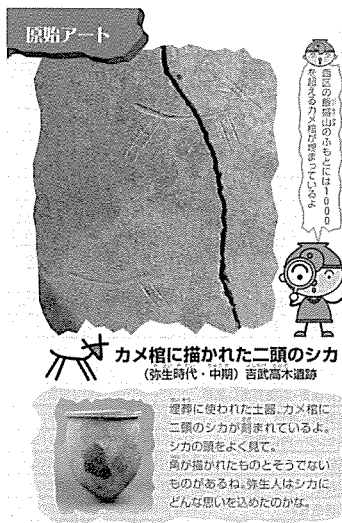
(国外発行) 朝鮮考古研究・考古学報・考古・考古与文物・四川文物・中原文物・農業考古・文物

2) 図書の閲覧

1階図書コーナーには一般から小学生向けの歴史・考古学関係の図書約470冊を揃えている。この閲覧は自由である。2階図書室では市内及び全国の発掘調査報告書と歴史・考古学専門書を主に図書約50,000冊を揃えており、297件の利用があった。

(7) 刊 行 物

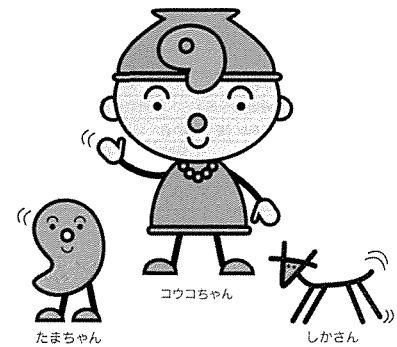
- 『福岡市埋蔵文化財センター年報』第24号平成16(2004)年度 A4版40ページ。2005年9月28日発行。文化財関係機関・図書館などに配布。
- 『見学のしおり』(展示案内パンフレット) B4版3つ折り6ページ。入館者に無料配布。
- 『マイコレ』(児童向け収藏品紹介)変形A4版3つ折り6ページ。児童に無料配布。
- 『2006年度講座案内』(チラシ) A4版2ページ。文化財関係機関・図書館などや入館者に無料配布。



見学のしおり

福岡市埋蔵文化財センター案内
&
福岡市の考古みどころスポット

ようこそ福岡市埋蔵文化財センターへ。
ここには遺跡から発見された発掘品や中世の博多のようすや福岡市の指定史跡など福岡市の歴史に関するいろいろなものがたくさん展示されているんです。



福岡市埋蔵文化財センター
Fukuoka City Archaeology Center

(8) 団体見学

年月日	団体名	人数
2005. 4. 14	福岡市立月隈小学校	31名
2005. 4. 22	福岡市立那珂南小学校	94名
2005. 5. 6	福岡市立席田小学校	52名
2005. 5. 10	福岡市立柏原小学校	93名
2005. 5. 11	福岡市立三宅小学校	139名
2005. 5. 18	香蘭女子短期大学	7名
2005. 5. 22	福岡女学院大学	14名
2005. 5. 24	TNC文化大学	41名
2005. 5. 25	福岡市立吉塚小学校	65名
2005. 5. 27	山口県周南市立和田小学校	10名
2005. 6. 1	財団法人 大阪府文化財センター	43名
2005. 6. 26	別府大学	35名
2005. 7. 1	福岡市立警固小学校	13名
2005. 7. 27	歴史を学ぶ会	7名
2005. 8. 24	なごみの里デイサービス	15名
2005. 8. 26	なごみの里デイサービス	18名

年月日	団体名	人数
2005. 8. 28	福岡市博物館親子体験	80名
2005. 8. 30	佐世保史遊会	16名
2005. 9. 4	韓国・明知大学	10名
2005. 9. 21	月隈校区衛生組合	11名
2005. 10. 16	ボーイスカウト連盟	18名
2005. 11. 9	菊水町史談会	16名
2005. 11. 15	青山学院大学史学科	8名
2005. 11. 16	博多区PTA	36名
2005. 11. 19	ボーイスカウト連盟糟屋分団	30名
2005. 11. 20	福島大学考古学研究室	13名
2006. 1. 10	嶺南大学博物館	23名
2006. 2. 25	西区歴史よかとこ案内人協議会	28名
2006. 3. 9	大阪府老人大学歴史考古学科	41名
2006. 3. 14	福岡市観光ボランティア	20名
2006. 3. 21	うきは市教育委員会	124名
2006. 3. 23	ひすい20の会	25名

平成17(2005)年度資料貸出等一覧

件数	受付月日	申請者	区分	資料名	点数			貸出日	備考
					遺物	写真	他		
1	20050224	福岡市博物館	A	城ノ原遺跡出土土器他	1196		1196	20050401	常設展示
2	20050304	国立歴史民俗博物館	A	板付遺跡・有田遺跡・三筑遺跡出土土器	25		25	20050401	常設展示
3	20050405	大阪府立弥生文化博物館	A	今山遺跡・藤崎遺跡・有田遺跡出土土器他	24		24	20050401	常設展示
4	20050303	広島県立歴史博物館	A	博多遺跡出土陶磁器	6		6	20050401	常設展示
5	20050318	焼津市歴史民俗資料館	A	藤崎遺跡出土58号壺	2		2	20050401	常設展示
6	20050312	新宮町教育委員会	A	石丸古川遺跡・飯沢ノウザ遺跡出土土器	3		3	20050401	町立歴史資料館内常設展示
7	20050324	リコーテクノシステムズ(株)九州支社	A	比恵遺跡25次出土土器	3		3	20050401	ロビー常設展示
8	20050322	グランドホームサンケア和	A	唐原遺跡出土土器・展示台	6	4	10	20050401	ロビー常設展示
9	20050304	粕屋町教育委員会	A	戸原変尾遺跡出土六花鏡・陶磁器	44		44	20050401	町立歴史資料館内常設展示
10	20050312	菊池市教育委員会	A	博多遺跡出土土器・陶磁器他	150		150	20050401	菊池神社歴史館内常設展示
11	20050331	東京国立博物館	A	鴻臚館跡出土陶磁器	23		23	20050401	平成館考古展示室常設展示
12	20050318	市立賀茂小学校	A	鶴町遺跡出土土器・石器	36		36	20050401	校内常設展示
13	20050325	市立馬出小学校	A	箱崎遺跡出土土器	6		6	20050401	校内常設展示
14	20050329	市立三苦小学校	A・B・C	三苦遺跡出土土器・石器	69		69	20050401	校内常設展示
15	20050329	市立野多目小学校	A	野多目遺跡出土土器	47		47	20050401	校内常設展示
16	20050325	市立名島小学校	A	蒲田遺跡・海の中道遺跡出土土器他	28		28	20050401	校内常設展示
17	20050405	市立東箱崎小学校	A	箱崎遺跡・板付遺跡出土土器他	7		7	20050405	校内常設展示
18	20050325	博多区総務部振興課	A・B・C	博多遺跡出土土器・陶磁器他	25	12	39	20050401	まちかど文化ひろば「えふギャラリー」展示
19	20050325	福岡市交通局	A	藤崎遺跡3次出土壺	4		4	20050401	藤崎駅常設展示
20	20050507	鴻臚館跡展示館	A	鴻臚館跡出土陶磁器など	113		113	20050507	鴻臚館跡展示館
21	20050507	金隈遺跡展示館	A	金隈遺跡出土土器	61		61	20050507	金隈遺跡展示館
22	20050507	野方往居跡展示館	A	野方遺跡出土遺物	42		42	20050507	野方遺跡展示館
23	20050507	板付弥生館	A	板付遺跡出土遺物	71		71	20050507	板付遺跡展示館
24	20050401	群馬県立歴史博物館	A	藤崎遺跡出土壺	2		2	20050401	館内常設展示
25	20050330	神戸市教育委員会	A	有田遺跡64次出土土壺	3		3	20050401	埋蔵文化財センター内常設展示
26	20050323	高口箱屋ビル	A	博多遺跡126次出土白磁	7		7	20050401	エントランス常設展示
27	20050329	市立板付北小学校	A	板付遺跡出土土器	10		10	20050401	校内常設展示
28	20050329	市立市川考古博物館	A	西新町遺跡2次出土12号壺	2		2	20050401	館内常設展示
29	20050323	今宿横浜地区すみよい町づくりの会	A	今山遺跡出土土器・石器	18		18	20050401	自治会館内常設展示
30	20050329	古賀市教育委員会	A	藤崎遺跡2次出土40号壺他	2	1	3	20050401	古賀市歴史資料館常設展示
31	20050329	東北歴史博物館	A	有田遺跡7次出土土壺	1		1	20050401	館内常設展示
32	20050325	西南学院大学	A	羽根戸原C遺跡出土須恵器	20		20	20050401	博物館実習教材
33	20050329	福岡市博物館	A	藤崎遺跡・徳永遺跡出土土器他	10		10	20050401	博物館体験学習
34	20050329	福岡市四箇田公民館	A	四箇田遺跡第2次出土土器・石器など	8		8	20050401	公民会に展示
35	20050329	市長室秘書課	A	比恵遺跡出土土壺・クエノノ遺跡出土須恵器	3		3	20050401	市長応接室に展示
36	20050329	議会事務局	A	鴻臚館跡出土陶磁器	2		2	20050401	市議会議長・副議長室に展示
37	20050329	教育委員会総務課	A	比恵遺跡出土土壺	4		4	20050401	教育長室に展示
38	20050329	(財)福岡コンベンションセンター	A	雀屋遺跡12次出土壺	1		1	20050401	国際センター内に展示
39	20050415	城ノ原小学校	A	拾六町遺跡出土土器他	5		5	20050415	授業教材
40	20050416	「織の海道」実行委員会	B	金隈遺跡1次壺・ゴホウラ貝製腕輪	3		3	20050419	織の海道 奄美・鹿児島・久米米編
41	20050422	福岡市埋蔵文化財センター	B	比恵遺跡6次ほか	10		10	20050422	大学講座資料
42	20050423	(財)福岡市文化芸術振興財団	B	博多遺跡29次出土土壺	1	1	2	20050423	絵はぎ作成において
43	20050419	仙台市富沢遺跡保存館	A・B	三宅庵寺第1次出土銅製・銅製箸	2	2	4	20050517	「グルメとトイレの考古学」展に展示・掲載
44	20050513	(株)科学新聞社	B	雀屋遺跡12次出土土器	3		3	20050513	「原子力ー自然に学び、自然を真似るー」
45	20050506	別府大学 文学部	A	比恵遺跡6次出土青銅鋳貨ほか	17		17	20050506	「船岡位体からみた青銅鋳貨」
46	20050510	福岡市教育委員会文化財整備課	D	能古焼窯跡図面		1	1	20050510	遺跡整備
47	20050511	(株)エネルギーレビューセンター	B	雀屋遺跡12次出土土器	3		3	20050511	「ビジュアルニュース」
48	20050519	福岡市博物館	A	柏原遺跡5次出土深鉢	1		1	20050709	常設展示
49	20050520	福岡市埋蔵文化財センター	C	ビデオカメラ		1	1	20050520	教材撮影
50	20050421	愛媛県歴史文化博物館	A	柏原遺跡F地区出土土器	1		1	20050701	「上黒岩岩陰遺跡とその時代」展に展示・掲載
51	20050412	鳥栖市教育委員会	B	比恵遺跡出土銅矛鋳型ほか	1		1	20050527	鳥栖市誌第2巻「原始・古代編」
52	20050427	奈良県香芝市二上山博物館	B	比恵遺跡出土土器ほか	3		3	20050527	「邪馬台国時代の筑紫と大和」
53	20050527	福岡市埋蔵文化財センター	A・B	井尻B遺跡2次出土土器	6	16	22	20050527	大学講座資料
54	20050531	(株)学習研究社	D	板付遺跡出土石包丁		1	1	-	「小学社会歴史暗記の天才」
55	20050531	九州歴史資料館	A	鴻臚館跡軒丸瓦	2		2	20050609	考古基準室に展示
56	20050531	(有)和銅社	B	城の原遺跡出土土壺	1		1	20050604	「すくもわかる 日本の伝統色」
57	20050604	国立歴史民俗博物館	A	板付遺跡・有田遺跡出土土器	3		3	20050716	特別展「縄文vs弥生」における展示
58	20050601	九州国立博物館	A	大原D遺跡5次出土土器ほか	56		56	20050701	文化交流展示「海の道、アジアの路」
59	20050603	福岡市埋蔵文化財センター	B	野多目遺跡	18		18	20050603	大学講座資料
60	20050609	福岡市埋蔵文化財センター	B	板付遺跡	27		27	20050609	大学講座資料
61	20050610	香芝市教育委員会	A・B	那珂八幡古墳出土土器ほか	55	3	58	20050701	文化交流展示「海の道、アジアの路」
62	20050614	(株)NHKエンタープライズ	D	板付遺跡出土炭化米			-	-	「日本人はるかな旅」で放映
63	20050617	福岡市埋蔵文化財センター	B	藤崎遺跡	42		42	20050617	大学講座資料
64	20050624	福岡市教育委員会文化財整備課	B	板付遺跡	38		38	20050624	大学講座資料
65	20050621	福岡市博物館	A	老司古墳出土鏡	2		2	20050628	「邪馬台国時代の筑紫と大和」
66	20050618	伊万里市役所 市史編纂室	B	板付遺跡足跡模型		1	1	20050618	伊万里市史「原始・古代・中世編」
67	20050628	岡三リビック(株)	A	雑餉隈遺跡出土石剣・石鏃・壺	13		13	20050628	報告書作成のため
68	20050531	福岡市博物館	A	梅林古墳出土須恵器壺	2		2	20050601	展示品修復に伴う代替品
69	20050531	福岡市教育委員会文化財整備課	A	福岡城出土輪宝・銅壺	3		3	20050601	文化財保護審議会資料
70	20050701	福岡市埋蔵文化財センター	B	蓆田青木遺跡	20		20	20050701	大学講座資料
71	20050705	前原市教育委員会・伊都国歴史博物館	A・B	金隈遺跡1次出土土壺ほか	5	6	11	20050726	「伊都国動物ふれあい」展に展示・掲載
72	20050712	福岡市埋蔵文化財センター	C	ビデオカメラ		1	1	20050712	教材撮影
73	20050719	(有)コーベット・フォトエージェンシー	B	拾六町「ツイジ」遺跡出土木製三叉鏡	1		1	20050719	「中学歴史資料」
74	20050709	春日市奴国の丘歴史資料館	A・B	比恵遺跡36次出土銀製指輪ほか	233	3	236	20051018	考古企画展「古代人の装い」
75	20050414	(有)エス・アイ・エム	B	鴻臚館跡種実・寄生虫卵・花粉	1		1	20050414	都市緑化ふくおかフェアの展示館にて展示
76	20050702	(株)学習研究社	B	今宿五郎江遺跡ガラス製品	1		1	20050702	ムー9月号「超古代文明紀行」
77	20050804	下関市立考古博物館	A・B	吉武6次出土土壺ほか	5	8	13	20051014	企画展「一衣帯水の世界ー古の日韓交流ー」
78	20050715	(有)エス・アイ・エム	B	鴻臚館跡復元図	1		1	20050715	都市緑化ふくおかフェアの展示館にて展示
79	20050806	西日本新聞社事業局出版局	D	博多遺跡出土茶碗ほか			-	-	「いにしへの旅」
80	20050816	宮崎県立西都原考古博物館	A・B	野方久保遺跡1次出土土器ほか	2	1	3	20050820	「海を渡った日本文化」
81	20050813	九州国立博物館	B	卯内尺古墳	1		1	20050813	「いにしへの旅」
82	20050806	(財)日本宇宙少年団	B	雀屋遺跡出土土器	1		1	20050830	「ジュニア・サイエンティスト」11月号

註) A:遺物貸出、B:写真貸出、C:その他の貸出、D:図面・写真等の使用、E:遺物撮影

件数	受付月日	申請者	区分	資料名	点数			貸出日	備考	
					遺物	写真	他計			
83	20050817	福岡市博物館	A・B	柏原M遺跡・鴻臚館跡出土土器ほか	42	10	52	20050818	「考古資料に見られる草花」	
84	20050823	第22回全国都市緑化ふくおかフェア	A・B	鴻臚館跡復元図ほか	34	8	42	20050902	都市緑化ふくおかフェアの展示館にて展示	
85	20050825	九州国立博物館	D	雀居遺跡出土銅貨	2		2	—	文化交流展示ガイドブック、案内リーフレット等	
86	20050827	大阪府立弥生文化博物館	D	博多遺跡出土土器				—	平成17年度秋季特別展解説図録・チラシ等	
87	20050901	(株) 阪急コミュニケーションズ	E	吉武遺跡出土土器				20050910	B5F3 テレビ番組「神鹿伝説」	
88	20050909	(株) 東京大学出版会	B	藤崎遺跡3次壺	1		1	20050910	「日本美術の歴史」	
89	20050914	山梨県立博物館	A・B	元岡・桑原遺跡20次出土土器	1	1	2	20050914	企画展「やまなしの道祖神祭り」	
90	20050915	(株) KBC映像	E	比恵遺跡出土土器	1		1	20050915	「九州街道ものがたりー漂着物辞典ー」	
91	20050917	福岡市教育委員会大規模事業担当課	B	入部遺跡		150	150	20050917	報告書作成	
92	20050921	九州大学芸術工学研究院生	D	雀居遺跡出土土器				—	論文【まな板】	
93	20050924	(株) 学習研究社	D	板付遺跡出土土器				—	「直前リハーサル社会模擬テスト」	
94	20050927	愛知川町教育委員会	D	那珂遺跡出土土器				—	「近江愛知川の歴史」	
95	20050928	小野市教育委員会	D	野多目遺跡出土土器				—	論文【飯屋 弥生時代 渡来人から倭人へ】	
96	20050928	(株) 学習研究社	B	板付遺跡水田跡	1		1	20050928	「ニューフェイス100年 日本」の歴史	
97	20050930	福岡市埋蔵文化財センター	B	四箇遺跡	38		38	20050930	大学講座資料	
98	20051013	福岡市博物館	A・B	比恵8次出土土器	46	5	51	20051025	企画展「那津宮家とその時代展」	
99	20051014	福岡市埋蔵文化財センター	B	板付遺跡出土土器	22		22	20051014	大学講座資料	
100	20051018	福岡市教育委員会鴻臚館跡調査担当	B	金隈遺跡	21		21	20051018	出前講座使用	
101	20051020	福岡市教育委員会文化財整備課	A	城田遺跡2次出土土器	1		1	20051021	吉武高木遺跡整備指導委員会検討資料	
102	20051021	福岡市埋蔵文化財センター	B	吉武高木遺跡	61		61	20051021	大学講座資料	
103	20051028	福岡市埋蔵文化財センター	B	鶴先古墳	49		49	20051028	大学講座資料	
104	20051028	(株) ポプラ社	B	板付遺跡水田跡ほか	3		3	20051104	「ポプラディア情報誌 米」	
105	20051110	福岡市埋蔵文化財センター	B	比恵遺跡	46		46	20051110	大学講座資料	
106	20051111	岡山市デジタルミュージアム	D	野方久保遺跡2次25号壺墓出土土器				—	「岡山びとのこだわり」展に展示・掲載	
107	20051119	(財) 日本宇宙少年団	D	雀居遺跡土器集合写真				—	「ジュニアサイエンティスト2006年4月号」	
108	20051123	福岡市教育委員会埋蔵文化財課	A	次郎丸高石群	23		23	20051123	報告書作成	
109	20051130	福岡市教育委員会大規模事業担当課	A・B・D	金武古墳群	100	72	47	219	20051130	報告書作成
110	20051206	沖縄県教育委員会	D	会泉遺跡コウハラ貝製陶輪ほか			0	20051206	県立博物館新館レプリカ展示のため	
111	20051208	(株) 文溪堂	D	雀居遺跡出土土器			0	—	「社会科しりしゅ6年 2006年版」	
112	20051209	国立歴史民俗博物館	D	雀居遺跡出土土器			0	—	「歴史」134号に掲載	
113	20051209	福岡市埋蔵文化財センター	C	ビデオカメラ		1	1	20051209	教材撮影	
114	20051213	福岡市教育委員会大規模事業担当課	A	金武古墳群	31		31	20051213	報告書作成	
115	20051214	(株) ランズ	B	鴻臚館跡出土陶磁器集合写真		3	3	20051221	「日本通史～別巻・歴史絵巻」	
116	20050928	大韓民国 国立海洋博物館	A	鴻臚館跡6次出土白磁碗ほか	21		21	20051012	「新羅人の張浦川」展	
117	20051020	(株) 雄山閣	D	吉武高木遺跡出土副葬品				—	「方形周溝墓研究会の会」	
118	20051202	(株) イー・トーグ	B	板付遺跡土器	1		1	20051223	中学歴史資料年報	
119	20051217	(株) 学習研究社	D	東入部遺跡出土土器				—	「福作文化の伝承とひろがり」、「ムラからクニ」	
120	20051221	NHK情報ネットワーク	B	比恵遺跡51次出土鉄斧ほか	2		2	20051223	「七支刀の謎に挑む」	
121	20051227	「博多山笠」刊行委員会	D	博多遺跡出土土器				—	「博多山笠」に掲載	
122	20051227	奈良文化財研究所	B	元岡・桑原遺跡7次出土土器	1		1	20060106	「評判下付木簡集成」	
123	20051228	国立歴史民俗博物館	D	雀居遺跡出土土器				—	「福作の始まりと東アジア」	
124	20060113	福岡市福岡市教育委員会文化財整備課	A	福岡城出土土器	3		3	20060113	文化財保護審議会検討資料	
125	20060113	奈良女子大学 人間文化研究科	D	井田C遺跡出土土器				—	「徳島県福岡市埋蔵文化財センター」紀要」	
126	20060114	福岡市教育委員会埋蔵文化財課	B	下月隈C遺跡	11		11	20060114	報告書作成	
127	20060120	福岡市埋蔵文化財センター	C	ビデオカメラ		1	1	20060120	教材撮影	
128	20060124	遊覧県立安土城考古博物館	A・B	老司古墳出土土器	20	14	34	20060124	「吾、天下を治す」展に展示・掲載	
129	20060127	福岡市埋蔵文化財センター	C	ビデオカメラ		1	1	20060127	教材撮影	
130	20060203	ベネッセグループ ランズ	B	板付遺跡出土土器	1		1	20060210	「分析と判定」	
131	20060204	福岡市教育委員会文化財整備課	A	福岡城内出土土器	3		3	20060209	福岡市文化財保護審議会等の説明資料	
132	20060208	福岡市教育委員会埋蔵文化財課	B	四箇遺跡23次	3		3	20060208	遺跡説明板製作	
133	20060215	藤ビッグベン	B	博多遺跡第14次白磁出土土器	6		6	20060218	テレビ番組「福岡歴史ものがたり」	
134	20060218	(財) 大阪府文化センター	B	大原B1次ほか	17		17	20060218	展覧会に使用	
135	20060207	北海道大学大学院文学研究科	B	柏原遺跡出土土器	1		1	20060210	「心と形の考古学」	
136	20060223	藤学習研究社	B	那珂休平遺跡出土土器	1		1	20060301	「ニュースワイド図鑑 日本」の歴史」	
137	20060224	藤学習研究社 デジタルコンテンツ事業部	A	市内遺跡出土土器	1		1	20060301	「吉野ヶ里遺跡を見る」	
138	20060224	福岡市埋蔵文化財センター	C	ビデオカメラ		1	1	20060224	教材撮影	
139	20060301	毎日新聞社	A	福岡城内出土土器	3		3	20060228	記事掲載に使用	
140	20060214	国立歴史民俗博物館	D	板付遺跡		1	1	20060214	広報誌に掲載	
141	20060217	奈良県立橿原考古学研究所	A	香椎B遺跡他市内遺跡ほか	99		99	20060303	下駄製作技法研究の基礎資料収集	
142	20060218	熊本大学埋蔵文化財調査室	A	四箇A・B遺跡出土土器	359		359	20060218	環境復元研究資料	
143	20060301	大阪府立弥生文化博物館	A・B	吉武高木遺跡6次調査ほか	8	9	17	20060303	「弥生画帖」展に展示・掲載	
144	20060303	福岡市教育委員会文化財整備課	A	福岡城内出土土器	3		3	20060303	文化財指定記者発表資料	
145	20060303	藤DNPアーカイブ・コム	B	城の原遺跡出土土器	1		1	20060308	日本陶磁器紹介書籍に掲載	
146	20060303	福岡市埋蔵文化財センター	C	ビデオカメラ		1	1	20060303	教材撮影	
147	20060303	福岡市教育委員会鴻臚館跡調査担当	B	鴻臚館跡石壺遺構外	5		5	20060303	「日本列島展」に掲載	
148	20060304	福岡市教育委員会文化財整備課	B	福岡城赤坂門跡	1		1	20060304	資料作成	
149	20060307	藤学習研究社	B	宝満尾遺跡出土ガラス玉	2		2	20060310	「歴史図鑑」に掲載	
150	20060309	博物館市史蹟さん堂	B	博多遺跡調査遺物出土土器	11		11	20060309	「市史研究 ふくおか」に掲載	
151	20060308	福岡市博物館	B	吉武大石遺跡	1		1	20060314	「最古の玉壺 吉武高木遺跡」展で掲載	
152	20060310	福岡市埋蔵文化財センター	C	ビデオカメラ		1	1	20060310	教材撮影	
153	20060311	(財) 日本原子力文化振興財団	B	雀居遺跡出土土器	1		1	20060311	「ほうしゃせんん歳時記」に掲載	
154	20060314	大阪府立近つ飛鳥博物館	A・B	元岡・桑原遺跡第12次調査区全景ほか	5	4	9	20060315	「古代の工房」展に展示・掲載	
155	20060314	山口大学人文学部人文社会学科	A	雀居遺跡第13次出土ガラス小玉ほか	36		36	20060418	ガラス生産基礎データ作成	
156	20060314	国立歴史民俗博物館	D	板付遺跡出土土器				—	年代測定資料	
157	20060316	福岡市教育委員会鴻臚館跡調査担当	A	鴻臚館出土土器	10		10	20060316	報告書作成	
158	20060324	福岡市埋蔵文化財センター	C	ビデオカメラ		1	1	20060324	教材撮影	
159	20060328	発掘された日本列島実行委員会	A・B	藤崎遺跡土器・土器、藤崎遺跡木棺副葬品、博多遺跡出土土器	55	25	80	20060607	「発掘された日本列島2006」展に展示・掲載	
160	20060328	九州歴史資料館	A	鴻臚館跡出土 軒丸瓦、軒平瓦	2		2	20060401	「考古基準資料」展に展示	
161	20060329	福岡市博物館	A・B	博多遺跡群高麗青磁	46	4	50	20060406	「考古資料に見る高麗と博多」展に展示	
162	20060331	下関市立考古博物館	B	諸岡遺跡出土コウハラ貝製陶輪	2		2	20060407	「弥生時代の貝製品」展パネル掲載	
163	20060331	東京大学出版会	D	桑原・元岡遺跡出土土器				—	「評判下付木簡集成」に掲載	
164	20060331	読売新聞西部本社	B	比恵遺跡遺構	1		1	20060331	「大王のひつぎ実験公開」に掲載	

注) A: 遺物貸出、B: 写真貸出、C: その他の貸出、D: 図面・写真等の使用、E: 遺物撮影

4. 入館者数

(1) 入館者総数

区 分		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(人)	比率(%)
(日)		26	26	26	27	26	26	26	26	23	23	24	27	306	
個 人	一 般	224	191	160	157	184	198	238	192	152	152	192	321	2,361	63.3%
	男	96	73	94	49	70	40	76	46	23	20	67	78	732	19.7%
	女	320	264	254	206	254	238	314	238	175	172	259	399	3,093	83.0%
	小 計	27	32	20	12	32	13	12	10	0	0	2	12	172	4.6%
	小学生	10	5	2	1	8	10	0	1	2	2	0	2	43	1.2%
	中学生	1	2	1	1	9	0	0	0	0	0	0	0	14	0.4%
	高校生	7	14	29	23	31	55	24	44	46	14	9	41	337	9.0%
	大学生	1	2	5	5	6	4	1	6	1	0	11	25	66	1.8%
	その他	46	55	57	42	86	82	37	61	48	16	22	80	632	17.0%
	小 計	366	319	311	248	340	320	351	299	224	188	281	479	3,726	100.0%
合 計(a)															
団 体	一 般	56	151	266	119	252	65	130	227	0	77	135	269	1,747	34.7%
	(団体数)	2	2	4	2	5	3	3	5		2	3	5	36	
	小学生	183	359	0	13	0	0	0	0	0	0	0	0	555	11.0%
	(団体数)	3	5		1									9	
	中学生	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
	(団体数)	0												0	
	高校生	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
	(団体数)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	大学生	0	21	35	0	0	0	0	21	0	0	0	0	77	1.5%
	(団体数)		2	1					2					5	
出前授業	1012	525	320	401	0	0	366	0	0	0	26	0	2,650	52.7%	
(団体数)	14	6	4	4			10				1		39		
合 計(b)	1251	1056	621	533	252	65	496	248	0	77	161	269	5,029	100.0%	
(団体数計)	19	15	9	7	5	3	13	7	0	2	4	5	89		
総 計(a+b)	1,617	1,375	932	781	592	385	847	547	223	265	442	748	8,755		

(2) 個人入館者年齢区分

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(人)	比率(%)
0～19才	43	45	29	23	58	27	13	11	3	2	9	20	283	7.6%
20～29才	48	37	43	28	49	64	45	56	50	24	32	86	562	15.1%
30～39才	95	82	78	80	84	97	57	65	45	41	67	98	889	23.9%
40～49才	98	74	76	55	78	62	114	96	74	63	88	135	1,013	27.2%
50～59才	56	64	52	39	44	42	91	46	37	36	59	88	654	17.6%
60～69才	14	11	26	18	19	20	21	18	14	14	23	37	233	6.3%
70～79才	11	5	5	4	5	8	7	4	1	8	2	12	71	1.9%
80才以上	1	1	2	1	3	0	3	3	0	0	1	3	18	0.5%
計	366	319	311	248	340	320	351	299	224	188	281	479	3,726	100.0%

(3) 個人入館者住所区分

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(人)	比率(%)
福 岡 市	190	185	175	136	196	143	228	142	107	95	129	265	1,991	53.6%
福 岡 県 内	134	89	94	77	96	100	88	80	51	59	99	111	1,078	29.0%
県 外	41	45	42	35	48	72	30	77	58	31	53	98	619	16.7%
国 外	1	0	0	0	0	5	5	0	8	3	0	5	27	0.7%
計	366	319	311	248	340	320	351	299	224	188	281	479	3,726	100.0%

(4) 年度別入場者の推移

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	半期計	合計
平成15年度	730	728	969	835	602	380	586	437	350	383	571	496	4,244	7,067
平成16年度	548	698	784	921	431	471	388	770	445	328	615	814	3,853	7,213
平成17年度	1,617	1,375	932	781	592	385	847	547	223	265	442	748	5,682	8,754
開館日数 (日)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
	26	27	26	27	26	26	26	26	23	23	24	27		
各月一日平均(人)	62.2	50.9	35.8	28.9	22.8	14.8	32.6	21.0	9.7	11.5	18.4	27.7		
H17年度累計(人)	1,617	2,992	3,924	4,705	5,297	5,682	6,529	7,076	7,299	7,564	8,006	8,754		
開館以降累計(人)	301,880	303,255	304,187	304,968	305,560	305,945	306,792	307,339	307,562	307,827	308,269	309,017		

5. 平成17年度当初予算

(1) 歳入

14,308千円 (国補助金13,808千円、使用料及び手数料114千円、諸収入386千円)

(2) 歳出

104,160千円 (管理運営費62,220千円、事業費20,651千円、施設整備費21,289千円)

Ⅱ 埋蔵文化財センターの概要

1. 組織と職員

(1) 福岡市文化財行政の組織

教育委員会－教育長－教育次長－文化財部長

文化財整備課	管理係	部の総括、予算・決算、庶務・経理、文化施設の管理
	整備係	文化財の指定、史跡の保存・整備
課長	主査	鴻臚館跡の調査担当
埋蔵文化財課	調査第1係	課の庶務、城南・早良・西区に係る埋蔵文化財の発掘調査
	調査第2係	国庫補助事業及び中央・博多・東・南区に係る埋蔵文化財の発掘調査
	事前審査係	公共及び民間開発事業の埋蔵文化財に係る事前審査
課長	主査	大規模事業等担当
埋蔵文化財センター	運営係	施設の管理運営、考古学的資料の収集・保存・展示

(2) 埋蔵文化財センターの職員（平成17年度）

所長 二宮 忠司	運営係長 内田 寿生	文化財主事 瀧本 正志	嘱託 片多 雅樹 (保存処理指導員) 柳田 純孝 (専門調査員)
		文化財主事 比佐陽一郎	
	主任文化財主事 常松 幹雄	事務吏員 矢野 昌治	

2. 施設

(1) 施設の概要

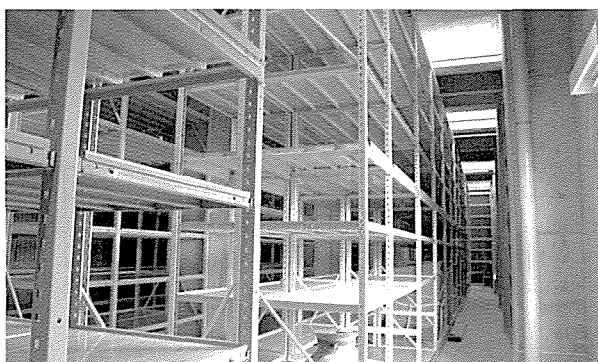
当センターは敷地面積4,000㎡、鉄筋コンクリート造3階建（建設面積1,015㎡、延床面積1,992㎡）の規模で昭和57年2月開館した。その後、昭和61年3月に収蔵庫を主とした増築（建設面積1,000㎡、延床面積1,994㎡）を行った。さらに平成9年度から大規模な増築・改造を実施し、平成11年4月にリニューアルオープンの運びとなった。

(2) 施設の改修など

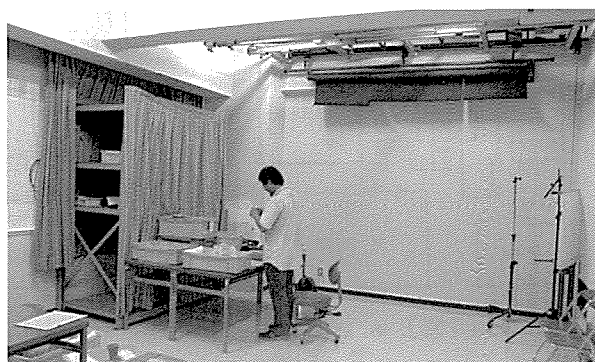
平成17年度は、国（文化庁）の埋蔵文化財保存活用整備事業の補助をうけ、研修室ならびに撮影室の改修を行うことができた。

これまで研修室は、受講者が多数の場合、後列の方々にとって画面が見づらく、講師の声が聞き取りにくいことから、改善の要望が寄せられていた。プロジェクターを高性能の器種に取替え画質の向上をはかるとともに、後列にスピーカーを増設した。またAV機器も充実をはかり、DVDやパワーポイントなどの円滑な操作が可能となった。撮影室は、照明機器の老朽化や壁面のクロスの劣化が著しい状況であったが、使用不能となった照明機器を撤去しクロスの張替え、現像室の排水パイプの取替えて、収蔵資料の撮影環境を改善することができた。

このほか保存活用整備事業によって、新館2階収蔵庫の約4分の1のスペースにスチール製収納棚を設置し、これによってコンテナ約1万2千箱の収蔵スペースを確保することができた。また17年3月の福岡県西方沖地震によってコンテナが飛び出すなどの被害があった本館収蔵庫の2層と4層の1100箇所へ飛び出し防止の起立式前立てを設置した。



増設された収納棚（新館二階収蔵庫）

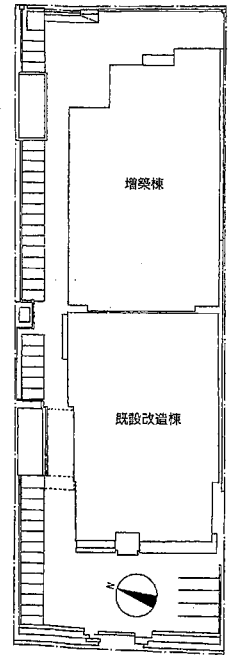


改修後の撮影室（本館二階）

(2) 主な施設

施設区分	室名	床面積(m ²)
教育普及	第1展示室	167.00
	第2展示室	127.00
	第3展示室	61.00
	研修室	140.00
	図書室・図書コーナー	181.00
	貸出準備室	85.00
	資料閲覧室	58.00
収蔵	収蔵庫	5,601.00
	特別収蔵庫	547.00
	記録類収蔵庫	192.00
	荷解・搬入室	65.00
	消毒室	23.00

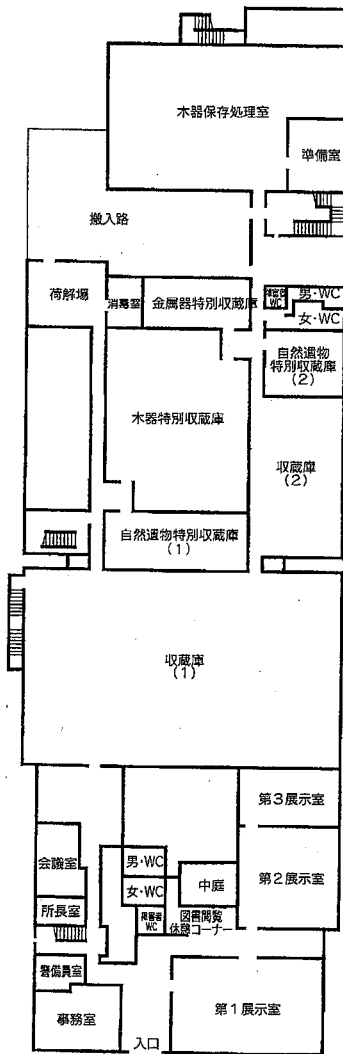
施設区分	室名	床面積(m ²)
保存処理	木器保存処理室	426.00
	金属器処理室	156.00
	分析室	154.00
資料整理	洗浄室	37.00
	資料整理室	235.00
	写場・暗室	63.00
管 理	倉庫	58.00
	事務・会議室等	140.00
	警備・機械室等	258.00
	通路・エレベーター等	1,434.00
その他	庇・トラックヤード等	505.00
	計	10,713.00



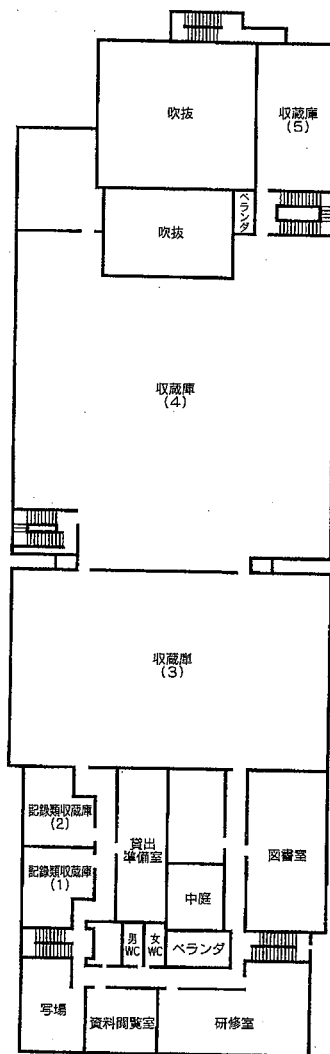
建物配置図 ▶

正面入口

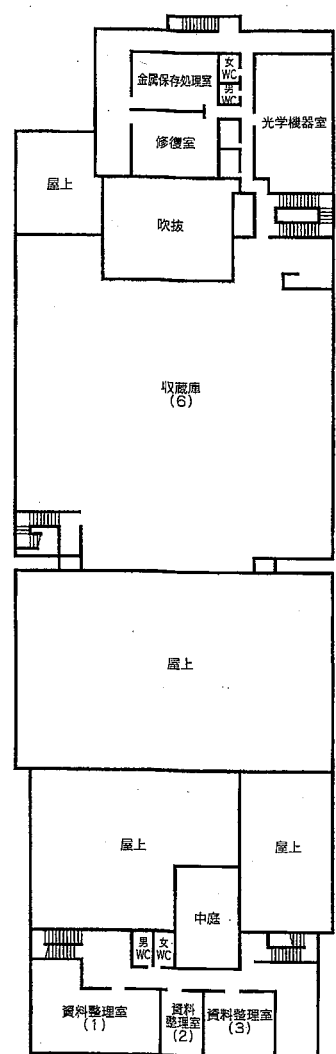
▼ 施設平面図



〔1階〕



〔2階〕



〔3階〕

付1 福岡市埋蔵文化財センター条例等

福岡市埋蔵文化財センター条例

(昭和56年12月21日)
条例第66条

(設置)

第1条 発掘調査等で出土した考古学的資料(以下「資料」という。)の保存と活用を図り、もって市民文化の向上に資するため、福岡市埋蔵文化財センター(以下「センター」という。)を福岡市博多区井相田2丁目に設置する。

(事業)

第2条 センターは、次の各号に掲げる事業を行う。

- (1) 資料の収集、整理及び保存に関すること。
- (2) 資料を展示し、公開すること。
- (3) 資料の専門的調査研究を行うこと。
- (4) 前3号に掲げるもののほか、センター設置の目的達成に必要なこと。

(職員)

第3条 センターに所長その他必要な職員を置く。

(入館の制限)

第4条 教育委員会は、次の各号いずれかに該当する者に対し、入館を拒み、又は退去を命ずることができる。

- (1) センターの管理上必要な指示又は指導に従わない者

(2) センターの管理上支障があると認められる者(資料の貸出し)

第5条 教育、学術若しくは文化に関する機関若しくは団体又は学術研究のため特に資料を使用しようとする者は、教育委員会の許可を受けて資料の貸出しを受けることができる。

2 前項の貸出しは、資料の保管について安全が確保できると認められる場合に限り行うものとする。

(損害賠償)

第6条 資料の観覧者または貸出しを受けた者が、その責めに帰すべき理由によりセンターの建物若しくは施設又は資料を破損し、滅失し、又は汚損して本市に損害を与えたときは、これらを原状に復し、又はその損害を賠償しなければならない。

(委任)

第7条 この条例に定めるもののほか、センターの管理に必要な事項は、教育委員会規則で定める。

附則

この条例は、交付の日から起算して3月を越えない範囲内において教育委員会規則で定めた日から施行する。

(昭和57年規則第3号により)
昭和57年2月22日から施行

福岡市埋蔵文化財センター条例施行規則

(昭和56年1月25日)
教育委員会規則第4号

改正 昭和61年一教規則2、平成4一教規則7、
平成4一教規則3

(趣旨)

第1条 この規則は、福岡市埋蔵文化財センター条例(昭和56年福岡市条例第66号。以下「条例」という。)の施行に関し必要な事項を定めるものとする。

(組織)

第2条 福岡市埋蔵文化財センター(以下「センター」という。)の事業を行うため、センターに管理係を置く。

(職員)

第3条 センターに所長、係長、吏員その他の職員を置く。

2 前項の職員のほか、特定事務を担当させるため、センターに主任文化財主事及び文化財主事を置くことができる。

3 所長、係長、主任文化財主事、文化財主事は、吏員のうちから命ずる。

4 係長又は主任文化財主事のうちから統括係長を命ずることができる。

5 所長及び係長は、上司の命を受けてセンター又は係りの事務を掌理し、所属職員を指揮監督する。

6 主任文化財主事及び文化財主事は、上司の命を受けて担当事務を処理する。

(職務権限の代行)

第4条 所長に事故がある場合、又は所長が欠けた場合において、特に事務取扱者を命じないときは、係長がその係りに属する事務について所長の職務権限を代理して行う。ただし、重要又は異例な事務については、文化財部長の指揮を受けなければならない。

2 前項の規定により所長の職務権限を代理して行う者がいないときは、文化財部長が行う。

(開館時間)

第5条 センターの開館時間は、午前9時から午後5時までとする。ただし、教育長は、必要があると認める場合は、これを変更することができる。

(休館日)

第6条 センターの休館日は次のとおりとする。ただし、教育長は、必要と認める場合は、これを変更し、又は臨時に休館日を設けることができる。

(1) 毎週月曜日

(2) 12月28日から翌年1月4日まで

(入館者の心得)

第7条 センターに入館する者は、次の各号に掲げる事項を守らなければならない。

(1) 所定の場所以外の場所で飲食し、喫煙し又は火

気を使用しないこと。

(2) 騒音を発する等他人に迷惑を及ぼす行為をしないこと。

(3) 危険物又は動物を持ち込まないこと。

(4) 危険物又は動物を持ち込まないこと。

(5) 所定の場所以外に立ち入らないこと。

(6) 職員が行う管理上必要な指示又は指導に従うこと。

(貸出)

第8条 条例第5条第1項の規定による資料の貸出しを受けようとする者は、福岡市埋蔵文化財センター資料貸出許可申請書(様式第1号)を教育長に提出

しなければならない。

(寄贈等)

第9条 センターに資料を寄贈し、又は寄託しようとする者は、教育委員長に申し出なければならない。

2 寄託を受けた資料の貸出しは、寄託者の承諾を得て行うものとする。

(委任)

第10条 この規則の施行に関し必要な事項は、教育長が定める。

附 則

この規則は、昭和57年2月22日から施行する。

保存処理設備機器の外部使用許可基準

1. 基本的使用許可基準

外部に対する保存処理設備機器の使用許可に際しては、下記要件を満たすものであることを原則とする。

(1) 本市の保存処理業務に支障をきたすおそれがないこと。

(2) 文化財保護の観点から重要性があり、本市の文化財保護行政に寄与するものであること。

2. その他の許可基準

(1) 使用は、センター職員の指導・助言のもと、原則として外部担当職員が行うものとする。

(2) 使用に際して必要となる原材料・作業員等は使用者側(外部)の負担とする。

(3) 一括委託等請負的な処理は許可しないこととする。

(4) 民間業者等営利を目的とする団体からの依頼については許可しないこととする。

(5) 緊急性のある場合や特殊なものを除いて、通常の保存処理については受け付けないものとする。

(6) 使用に際しては、事前にセンター職員と協議のうえ申請書を提出し、許可を得ることを必要とする。

(7) 使用にあたってはセンター職員の指示に従うこと。また指示以外の行為により機器を破損した場

合は、使用者側の責任において原状回復すること。

3. 対象機器一覧

本基準を適用する保存処理機器は、別紙一覧表の通りとする。

4. 許可基準の理由(略)

本基準は平成12(2000)年3月1日より施行する。

(別紙) *主な保存処理機器の品名のみを列記

大型PEG含浸槽、一体型PEG含浸槽、真空凍結乾燥機、小型真空凍結乾燥機、有機遺物処理装置、減圧含浸装置、工業用電子天秤、偏光顕微鏡、実体顕微鏡、ビデオマイクロスコープ、赤外線カメラ、画像ファイリング装置、分析用電子天秤、赤外線分水計、大型滑走式マイクローム、蛍光X線分析装置、微小部蛍光X線分析装置、X線回析装置、走査電子顕微鏡、顕微赤外分光光度計、透過X線撮影装置、分析用試料作成装置、マグネチックスターラー、ドラフトチャンバー、精密噴射加工機(エアブラシ)、精密グラインダー、送風定温乾燥機、大型送風定温乾燥機、真空乾燥機、卓上電気炉、純水製造装置、超音波洗浄機、真空デシケター、攪拌機、真空脱泡用デシケター、シーラー、バキュームシーラー、ホットエアガン

埋蔵文化財センターにおける有料複写サービス取り扱い要項

(目的)

第1 この要領は、教育委員会文化財部埋蔵文化財センターにおいて、埋蔵文化財センター図書室所蔵の発掘調査報告書等行政資料のサービスを行う際の取り扱いについて、必要な事項を定めるものとする。

(複写サービスの申し込み)

第2 複写サービスの申し込みは、口頭で受けるものとする。

(複写手数料)

第3 複写サービスについては、福岡市手数料条例(昭和35年条例第11号)第2条第2項に基づき実費を徴収するものとし、その複写サービス料金は次の通りとする。なお、手数料については利用者が見やすいところに掲示するものとする。

(1) 用紙の規格は日本工業規格B列5番からA列3

番までとし、1枚につき10円とする。

(複写手数料の納入等)

第4 行政資料複写の申し込みがあった場合は、申込者に対して複写手数料の金額を告知し、現金による納入を受けた後、金銭登録機で打出した領収票又は現金領収帳による領収書を交付するものとする。

付 則

この要項は平成12年4月5日から施行する。

この要項は平成14年8月1日から施行する。

この要項は平成15年1月7日から施行する。

付2 平成17年度刊行福岡市埋蔵文化財調査報告書

- 869集 有田・小田部40～有田遺跡群第205次調査報告書～(調査番号0256)
870集 有田・小田部41(調査番号7823・7824・7825・7826・7827・7828・7830・9301・9634・9847・0020・0036・0038・0301・0417・0466)
871集 有田・小田部42～有田遺跡群第211次調査報告書～(調査番号0428)
872集 今宿五郎江5(調査番号0254・0255)
874集 金武3～金武地区農村振興総合整備統合事業関係調査報告～浦江遺跡第5次調査5・城田遺跡第2次調査2・乙石遺跡第2次調査1～(調査番号0144・0329・0411)
875集 鴻臚館 鴻臚館跡16～平成15年度発掘調査報告書～(鴻臚館21次)(調査番号0309)
876集 コノリ遺跡2～コノリ遺跡群第4次調査の報告～(調査番号0463)
877集 雑餉隈遺跡6(調査番号0460)
878集 山王遺跡1～山王遺跡群第2次調査報告～(調査番号0459)
879集 山王遺跡2～第3次調査報告～(旧称比恵壺棺遺跡第2次)(調査番号0468)
880集 重留村下遺跡3～重留村下遺跡群第4次調査の報告～(調査番号0453)
881集 下月隈C遺跡VI 本文編 ～福岡空港周辺整備工事に伴う下月隈C遺跡第7次調査報告～(調査番号0115)
881集 下月隈C遺跡VI 図版編 ～福岡空港周辺整備工事に伴う下月隈C遺跡第7次調査報告～(調査番号0115)
882集 周船寺遺跡6～周船寺遺跡群第16次調査～(調査番号0431)
883集 周船寺遺跡7～周船寺遺跡群第17次調査～(調査番号0442)
884集 住吉神社遺跡1～住吉神社遺跡第1次調査報告～(調査番号0446)
885集 田島A遺跡2～田島A遺跡第7次調査報告～(調査番号0472)
886集 唐原稲葉遺跡1～第1次調査報告～(調査番号0427)
887集 那珂41～那珂遺跡群第99次調査報告～(調査番号0422)
888集 那珂42～那珂遺跡群第103次調査報告～(調査番号0455)
889集 那珂43～那珂遺跡群第106次調査報告～(調査番号0476)
890集 那珂44～那珂遺跡群第107次調査報告～(調査番号0477)
891集 中村町遺跡2～中村町遺跡第3次調査報告～(調査番号0473)
892集 博多106～博多遺跡群第147次調査の報告～(調査番号0426)
893集 博多107～博多遺跡群第148次調査報告～(調査番号0436)
894集 博多108～博多遺跡群第150次調査報告～(調査番号0479)
895集 博多109～博多遺跡群第151次調査の報告～(調査番号0482)
896集 箱崎25～箱崎遺跡第25・32・42次調査～(調査番号0104・0224・0351)
898集 比恵42～比恵遺跡群第91次調査報告～(調査番号0401)
899集 比恵43～比恵遺跡群第95次調査報告～(調査番号0467)
900集 比恵44～比恵遺跡群第97次調査報告～(調査番号0480)
901集 広瀬遺跡2・上広瀬遺跡1 石釜地区基盤整備促進事業関係調査報告書2～広瀬遺跡第1次調査2・上広瀬遺跡第1次調査～(調査番号0326・0418)
902集 広瀬遺跡3～広瀬遺跡第3次調査～(調査番号0419)
903集 藤崎遺跡16～藤崎遺跡第34次調査～(調査番号0461)
904集 干隈古墳群～D-1号墳の調査～(調査番号0471)
905集 三苦遺跡群6～第6次調査報告～(調査番号0462)
906集 南八幡遺跡7～南八幡遺跡第12次調査報告～(調査番号0403)
907集 席田大谷遺跡群6～第7次調査報告～ 空港線関係埋蔵文化財発掘調査報告書5(調査番号0452)
908集 夫婦塚古墳2～金武古墳群H群7次調査報告～(調査番号0423)
909集 元岡・桑原遺跡群6 九州大学統合移転用地内埋蔵文化財発掘調査報告書(調査番号9657・9658・0340・0033・0153・0154・0310)
910集 元岡・桑原遺跡群7～一般県道桜井太郎丸線拡幅に伴う発掘調査報告書～(調査番号0002)
911集 吉武遺跡群XⅧ 飯盛・吉武地区圃場整備事業関係調査報告書12～古墳時代集落遺構編3～(調査番号8335・8416)
912集 吉塚祝町2～吉塚祝町遺跡第2次調査報告～(調査番号0362)

福岡市埋蔵文化財年報vol.19 一平成16(2004)年度版一有田遺跡群208次(0412)、井尻B遺跡群23次・24次(0474・0489)、板付遺跡70次(0491)、香椎B遺跡群7次(0409)、蒲田部木原遺跡群9次(0469)、警固丸山古墳1次(0443)、那珂遺跡群95次・101次・104次(0408・0432・0456)、長尾遺跡群2次(0424)、中ノ原遺跡1次(0402)、名子遺跡1次(0405)、箱崎遺跡48次(0464)、原東遺跡群3次(0492)、比恵遺跡群94次・96次(0450・0478)、南八幡遺跡群13次(0465)、立花寺遺跡群7次(0406)、臨山A遺跡群8次(0470)

西新町遺跡Ⅶ 県立修猷館高等学校改築事業関係埋蔵文化財調査報告書6 福岡県文化財調査報告書第208集(調査番号0339)

福岡市埋蔵文化財センター年報 第25号

2006年9月28日

発行 福岡市教育委員会
福岡市博多区井相田2-1-94

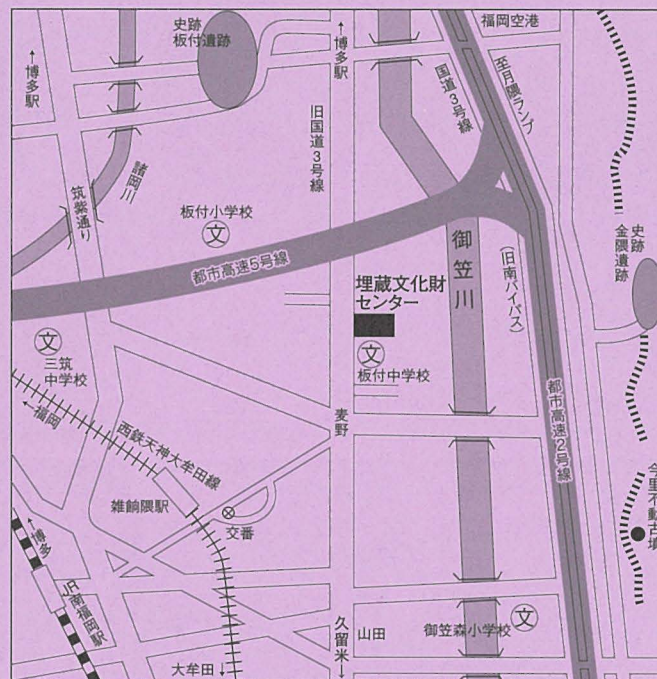
印刷 九州チューエツ株式会社
福岡市博多区東比恵2-9-1

FUKUOKA CITY ARCHAEOLOGY CENTER

Annual Report

No. 25

2006



福岡市埋蔵文化財センター

- 所在地 福岡市博多区井相田2丁目1-94 (〒816-0081)
- 電話 (092) 571-2921 Fax. (092) 571-2825
- 開館時間 午前9時～午後5時 (入館は午後4時30分まで)
- 休館日 毎週月曜日・年末年始 (12月28日～1月4日)
- 入館料 無料 (ただし団体見学の案内は事前に連絡が必要です)
- 交通手段
- 西鉄天神大牟田線 雑餉隈駅ざっしよのくまから徒歩15分
 - JR鹿児島本線 南福岡駅なみふくおかから徒歩25分
 - 西鉄バス 博多駅交通センターから41番雑餉隈営業所行ざっしよのくまに乗車約30分
板付中学校前いたづけ (埋蔵文化財センター前) 下車すぐ

<http://www.city.fukuoka.jp/maibun/>